京城日報
六月一日夕刊
(朝夕刊を併せて八頁)
本紙定價 壹部金參錢 壹ヶ月七拾五錢
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社

時間表

ソアソン戰闘猛烈
佛軍退却―陣地支持

二十九日夕佛國公報に曰くソアソン地帶の我軍左翼に於て戰闘猛烈に開始されたり我軍はソアソンを放棄せるも尚諸所の出口を支持す、戰闘はソアソンの前方及び東南方に於けるベルー、セプトモン線及びアンブリーフ、シヤクリゼ線間の高原上に於て繼續されつゝあり中央部にて我軍は敵の壓迫の下にローベース地帶にてフエレンタール、ドノアノ北方に退却せるが此間に英佛軍は更に東方に於けるプロレット、ザビグニー、チロイに亘る線上の陣地を支持し得たり而して右翼にてはランスを援護しつゝあり我軍はエイヌ運河の背後なるランスの西北方に退却せり(巴里電報)

【附記】ソアソンは巴里を距る東北六十五哩小都會なれども名高き寺あり、織物、酒の產地なり

佛軍ソアソン撤退

佛軍ソアソンを撤退したりとの發表あり目下の戰線はソアソンよりベルー、ソツプモン、アンビレ、シヤクリスを經てヘビテ、ランスの西北に及びたり(巴里電報)

獨軍捕虜獲得公報

獨軍公報に曰く獨軍は既に捕虜一萬五千人を西部戰線に得たり(倫敦電報)

イ市勞兵會戒嚴令

イルクツク勞兵會は同市及び其の附近に戒嚴令を布けり(哈爾賓電報)

廣東廣西内訌激烈

廣東軍政府組織變更以來廣東派と廣西派との內訌激烈となれり(北京電報)

軍需局官制施行

軍需局官制は六月一日より施行されたり(東京特電)

機關學校卒業式

海軍機關學校にては五月三十一日卒業式を行ひ　聖上陛下御名代として伏見宮博義王殿下成らせられたり(東京特電)

外米賣切と期米高値

外米四十萬石既に賣切れとなりたると地方正米連日高値を呼びたる爲め期米は三十一日には一圓五六十方の高値を唱へ白米小賣相場亦各等六七十錢方の暴騰を來し一日より無砂搗一等三十六圓七十錢、二等三十五圓七十錢、三等三十四圓九十錢、四等三十三圓九十錢、五等卅二圓九十錢となれり(東京特電)

青木中將歸著

支那軍事顧問青木中將は嘉義丸にて一日神戶に歸著せり(神戶電報)

總督邸晩餐會

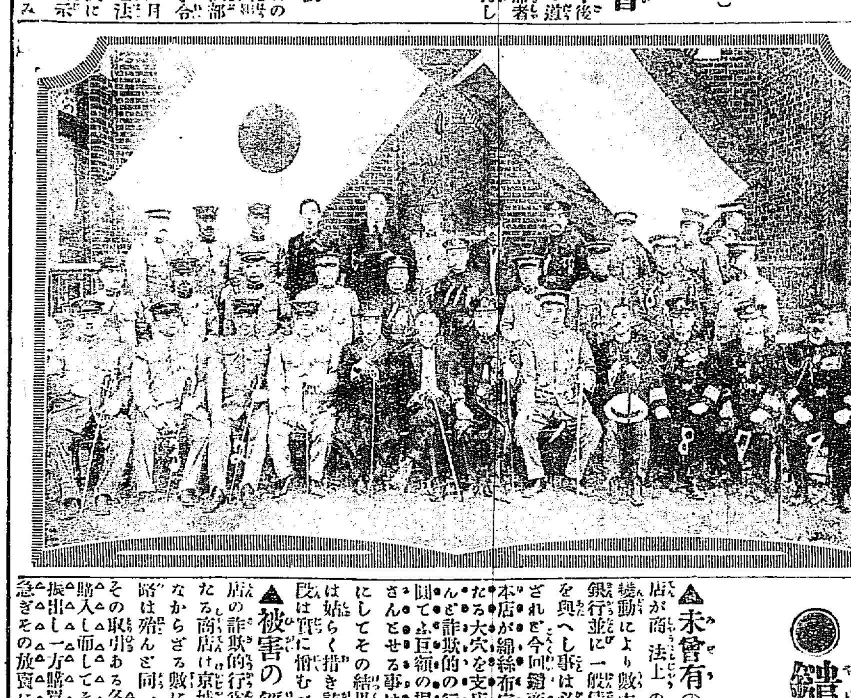
長谷川總督は既報の如く一日午後七時より官邸に於て入京中なる遞信局長、慈惠醫院長、朝鮮醫學總會列席者及び淺川馬政局長官等を招待し晩餐會を開きたり

朝鮮民事令
改正に就て
國分司法部長官談

朝鮮民事令改正の件は三十一日の閣議に附議決定せる事は東電所報の如くなるが右に就き國分司法部長官の談に曰く右は朝鮮民事令中唯一部の改正に過ぎず即ち六月一日より施行の事となれる共通法案に就き內地朝鮮間に於て判決に共通の點を認む可き事となり公示催告等は從來朝鮮總督府官報のみに揭載せしものを其或部分は內地の官報にて揭載するの必要上民事令中第九條に規定せる『第一條の法律中官報に揭載して爲す公告は朝鮮總督府官報に揭載して之れを爲す』とあるを改正す可きものにて四五日中には制令として發布さる可し而して目下の朝鮮民事令調査委員會の內容に屬するものとは全然別種のものなり

憲兵隊改稱と異動

朝鮮駐劄憲兵隊は六月一日附を以て朝鮮憲兵隊と改稱され尚一部の組織改正せられたるが之に伴ひ人事の異動近く發表さるべし



◇日支軍事協定委員　日支軍事協定委員が北京會議に於て撮影せるものなり
前列向つて右より伊丹陸大佐(9)支那側海軍委員長沈壽堃中將(7)吉田少將(8)芳澤參事官、支那側陸軍委員長靳雲鵬上將(1)劉冠雄海軍總長、林公使、曹汝霖陸相、齋藤陸軍少將(2)宇垣少將(3)阪西陸軍少將、二列向つて右より黒龍江督軍代表張濟元、丁錦陸軍少將(6)奉天督軍代表參謀、童煥文中將銜、吳振南海軍少將(11)徐振鵬海軍次長(10)曲同豐陸軍中將(4)吉林督軍代表陳鴻逵、本庄陸軍中佐(5)山田大尉、三列向つて右より江壽祺、劉嗣榮、余紹麟、陳思齊、西田通譯官、小林大尉、杉村書記官、德川書記官、鈴木中佐、田代大尉、土肥原大尉(北京)

朝鮮の馬匹普及策
鮮馬の改良は到底不可能なり
馬政局長官　淺川敏靖氏談

吾國に於ける馬匹の頭數は僅に百六十萬頭內外であつて歐洲大戰の戰績により▲國防上 管に寒心に堪へない習慣等は茲に新に百萬頭位の增殖を企圖せねばならぬと云ふ見地より條件附の乃ち弊害を伴はぬ程度の馬券の復活により馬匹に對する一般の觀念を更めその增殖を企つる事は刻下の必要事と考ふるのであるが又一方朝鮮の如き殆んど馬匹を有せざる廣い土地に產馬の獎勵を試みるは喫緊事であらう思ふに朝鮮に馬のゐないのは朝鮮に道路らしい道路のなかつた事物の移動が少なかつた事等を主として舉げねばなるまい、然るに總督政治によつて道路も立派に出來產業も▲漸次興隆 して來たのであるから今後はどうしても運搬用として馬の必要を生じて來るに相違はなく又馬を內地から移入する好時機と思ふ、それには先づ鮮人に馬の使ひ方をのみ込ます事を第一義とし朝鮮に於ける馬匹の增殖は第二義とするのが順序であらう、乃ち內地の去勢された馬ならば鮮人の女子供の使役にも從順であらうその去勢された馬を鮮地に移入して成年馬は便利だと云ふ觀念を彼等に抱かせ而して增殖の方法を講ずるやうにすればよいと信ずる差し向き朝鮮には七八萬頭の荷馬があるさうぢやからそれを▲全部馬 で使ふやうにしたら如何であらうか、かくして朝鮮に馬を增殖する事とすれば馬政上から見て甚だ結構しい次第であるが彼の小さい朝鮮馬を改良しその體軀を大にする事は少なくも三百年位の時日を必要とし到底言ふべくして行はれ難い問題である、予は總督府の當局に何等かの方法による馬匹普及策を執られん事を切望する次第である、尙ほ予の朝鮮來は初めてゞあつて別に視察と云ふ外何等の深い意味もない京城から北鮮を一廻り廻つて滿洲方面に出で支那に行き七月中旬歸東の豫定である

府令改正發布

大正三年總督府令第二十五號地方法院支廳の位置名稱及び事務取扱區域に關する件中改正の件は二日官報にて發布さるべし

叙勲

二十九日官報にて文官定期敍勳發表されたるが朝鮮に於ける重なる敍勳者左の如し

敍勳三等　篠田治策　神野忠武　新田留次郎　矢野義二郎

敍勳四等　岡元輔　柿原琢郎　杉村逸樓　村上清　人見次郎

辭令

一日左の如く辭令あり

任總督府事務官(七等)統計課勤務を命ず　田中三郎
依願免本官　篠田師治
陞敍高等官六等　金完鎭
依願免本官　敍正　蠣崎千晴
任總督府遞信事務官補(七等)　池松時雄

鑓商店不始末問題
京城財界の受くる影響如何
某有力銀行家の談

▲未曾有の事件 從來大商店が商法上の手違ひ並に相場の變動により數十萬圓の損失を來し銀行並に一般債權者に多大の損害を與へし事は必ずしも絕無にあらざれど今回の鑓商店京城支店の如く本店が綿絲布定期に大損失を受けたる大穴を支店の信用を惡用し殆んど詐欺的の行爲により四十七萬圓てふ巨額の損失を取引者に及ぼさんとせる事は全く未曾有の事件にして其の結果の如何に收まるやは姑らく措き該商店の奸詐なる手段は實に憎むべし

▲被害の徑路 今回鑓商店の詐欺的行爲により損失を受けたる商店は京城並に地方を通じ少なからざる數に上れるが被害の徑路は殆んど同一なり乃ち鑓商店はその取引ある各商店より綿絲布を購入し而してその品代金に手形を振出し一方購買せし商品の處分を急ぎその放賣によつて得たる資金を大阪の本店に送金せし也 乃ちかゝる手段は素より永き間に亘りて行はるべきものに非ず概して日へば鑓が此の奸手段にて各商店より商品を詐取せしは四月末より五月中の出來事にして五月末に至り漸くその破綻を彌縫し得ざるに至れるなり乃ち鑓商店との關係の如き共益社の如きは大阪本支店の連絡極めて密にして早くも四月頃より鑓大阪本店の危機を看破し京城鑓商店との取引を四月末より絕ちたる結果何等の損害をも蒙り居らざるによりても之を知り得べし

▲取引常態 ならず予は鑓の奸手段を憎むものなるが一方同商店と取引せし各被害者並に二三銀行の態度を稍迂闊に過ぎざりしやと言はざるを得ず何となれば一昨日の京城日報にも記されし如く綿糸布の大量取引は大阪と京城間ならざる可からず若し京城商店相互間の取引を必要とする場合は大阪發送商品の未著等の場合の當座口に限るか小量に制限するを原則とす、いかに鑓が最近花々しく活動し又ブローカー的の商店なりしとは云へ各綿絲布商より多量の商品を無限に受入れんとせしはその間に怪奇の事情の潛在を知らざる可らざるなり殊に某大商店が十七萬圓を又必らずしも綿絲布商として多くの地盤を有せざる某商店が七萬圓の商品を鑓に詐取されし如きは鑓の買ひ方の巧妙なるによるべけんも放心の批難は到底免るべからざらん

▲事件結果如何 目下關係者は善後策に狂奔中の如く如何なるケリのつけらるべきは俄に豫測し得ざるも鑓商店の存在は恐らく不可能なるべし或る一部にては

鑓に對する後援者の出現を噂せるも

予の知れる限りにては事實疑はし假令相當の後援者出づるとするも鑓の債權者に對する債務の辨濟は之れを幾割に留むるか若くは年賦等の方法による外なかるべく假に好良の結果を見るも事は至難ならんと觀測せざるを得ず或は債權者は全損の憂き目に遭遇するやも計り難し唯京城並に地方に於ける鑓商店關係の被害商店に對する一般の同情は甚だ大なるものあり若し此儘放置し盡く整理の運命に逢著せしむるならば破產の運命に逢着するもの無きに至るものも一二なきに非らず然もその整理は各種の關係に因り波紋を各方面に及ぼす虞れあるため多分何等かの方法により危險商店の救濟は行はるべき可能なるべきか

▲財界の影響 さて今回鑓の不始末が財界に如何なる影響を與ふべきかと云ふ某々の二三大商店は問題に非らずとしその他も數千圓若くは數萬圓にして一商店にて四十餘萬圓を踏み倒されしもの非ざるに付ため

京城の財界が混亂し譯す如く觀るは當らざるべし

唯今回の被害者に對する銀行その他の債權者の回收督促等の態度如何により倒產者を出す如き事あらば問題は稍大となるべきも恐らくそれ迄には及ばざるべきか

▲銀行關係 銀行關係は直接鑓に對し信用貸をなせしものの多からざるに付多くの損害はなし唯々二三銀行は鑓の振出せる割引手形を相當多額に所有し居れるもこは取立の完了により痛手を免れ得べし乍然その取立てらるべき商店か今回鑓により被害を受けし商店に付その回收に手心を要し困難を來すは免れざるべく若干の損失は止むを得ざるべし、その他の銀行も若干宛の鑓の手形を所持しゐたるも概ね處分を了したる者の如し

後援者ある乎

鑓商店不始末問題に付上阪中の某氏より京城關係商店に對し三十一日『後援者あり經過有望安心あれ』と入電ありたる由なり

朝鮮醫學會總會(第一日)

朝鮮醫學會第八回總會は一日午前八時より京城醫學專門學校に於て左の次第に依り開會々員の外來賓として東大教授岡田和一郎博士九大教授三宅速博士同宮入慶之助博士其他刀圭界の名士列席せり
▲開會の辭▲來賓祝辭▲會務報告▲(寫眞撮影)▲特別講演▲特別講演(午後一時再開)

軍團隊長會議

軍司令部にては來る八日より三日間松川軍司令官統裁の下に同部管轄部隊の團隊長會議を開催すべく八日の第一日は師團々隊長會議と共に軍司令部會議室に於て開會すべし

大正水利觀
木邦斯業界の覇者　坂田技師談

大正水利組合を視察した細かい感想を述ぶれば限りもないが概して云ふと設計も工事も比較的簡單で相當に出來てゐる、殊に灌漑面積が一萬で

▲七千餘町步 に上ると云ふ事は內地朝鮮の斯種の事業では到底比肩するものはなく將來も恐らく斯樣な廣い面積を包容する大水利が數多く現はれるだらうとは一寸思はれぬやうである、唯工事費は百三四十萬圓と云ふから藤田家の岡山縣兒島灣の開墾事業などに比すると少額であるが朝鮮では正しく未曾有の大工事で之れに

▲不二農場 の干潟地草生地開墾費七十萬圓を加ふると二百餘萬圓に達する譯で鴨綠江畔に於ける壯觀と稱して宜しい、唯用水路の堤防なとは經費に限りがあると數中に工事を進めたりした關係上稍遺憾の點を見るコレは理事者が地方農民に於て堤防の補修に意を用ゐ草生を計り植樹を急がねば夏時大雨出水の際には思はぬ損害を來すだらうと思はれる、要するに埃及や印度などに行くと英國官

大水利事業

は幾らもあつて大正水利の幾倍幾十倍に上るものもあるが日本では先づ大正水利を水利事業中の巨擘と稱して差支へないやうである

海事職員增加

勅令を以て最近遞信官署の技師一名並に技手書記十一名の增員の件を發布施行されしが右は朝鮮海事事務の膨脹繁多殊に內地に於て施行すべき朝鮮在籍船舶の船舶檢査事務增大のための海事技師海事技手並に書記なりと

淺川中將動靜

馬政局長官淺川中將は佐原馬政官帶同一日午前八時半總督府を訪問敬意を表し午餐後二時より昌德宮、秘苑、動植物園、博物館及び中央試驗所等觀覽し七時總督官邸に於ける晩餐會に臨席せり

講演

目下入京中の馬政局長官淺川中將の講演は二日午後二時より長谷川町銀行集會所に於て開催多數の聽講を歡迎すと

立花師團長歸任

第十九師團長立花中將は師團兵站演習統師を終へ大沼副官帶同一日午後八時四十六分龍山着列車にて歸任すべし

古海總長出發

古海警務總長は既報の如く官內巡閲の爲め一日午前出發せり

關屋局長歸期

內地旅行中の關屋學務局長は三日歸京の筈

專修生徒總督府參觀

京城專修學校三年生約百名は二十九日午後同校須藤教授引率の下に總督府を參觀したり

人事消息

▲關餌次郎氏(大邱覆審法院檢事長)一日夜入京不知火へ投宿の筈
▲竹村昌計氏(朝鮮總督府判事)同上
▲深田留吉氏(同上)同上
▲小杉鐵五郎氏(小城製粉株式會社技師長)
▲サラジミル、ブラクカフ氏夫妻(長崎駐在露國總領事)新任地吉林より赴任の途一日朝一日午前入京不知火へ
▲石原工學博士(旅順工科學堂長)一日午前京城通過內地へ
▲ジヨーイ氏(山口高等商業教授)一日午前通過山口へ
▲水津機關大佐一日午前安東より通過內地へ
▲坂口拙三氏(前代議士)入京中のところ一日午前岐阜へ
▲森脇大阪產業勞務一日午前入京浦尾へ
▲行弘寬氏(麻生鐵業支配人)一日午前內地より入京浦尾へ
▲佐藤潤象氏(朝鮮瓦斯電氣重役)一日午前大邱より入京朝鮮ホテルへ
▲堀田正忠子(朝鮮拓殖會社長)德光光太郎氏(同京城支店長)三十一日夜大阪へ
▲村田素一郎氏(總督府鐵務課長)三十一日第二浦より歸任
▲石垣信太郎氏(鐵務課)三十一日入京京城ホテルへ
▲宮崎貞一氏(警務總監部警視)北部巡閲中のところ三十一日午後歸任
▲杉本豐氏(東洋拓殖會社重役)一日朝入京浦尾へ
▲鹽澤大佐(京畿道警務部長)一日警務部內の檢閲をなす

九州見物(三十四)
磐溪生

ゴ苦勞千萬

耶馬溪に對する豫備智識の何者をも有せざりし我々は、耶馬溪探勝は總て土地の有志の案內に任したるが、案內者は我々が是こそ正覺正銘掛値無しの、海內第一の奇勝『金剛山』を有する事を知らざりしにや、はた一行の疲勞困憊を慮かりしにや、只單に寄附近及び羅漢寺の

○風光を紹介 したるのみにて、我々に隨喜の淚を流さしめんとしたり、然し其老婆心は遂に我々に滿足を得せしめずして、耶馬溪の罵倒に了らしめたり、案內者も迷惑なりしならんが、耶馬溪も至極迷惑を感じたらん、それよりも山陽に嫐てられて遙々探勝に出掛けたる我々こそゴ苦勞千萬なりしなり。前記の如く我々の探勝は淨瑠璃ならば

○御簾內を聽 きたるのみなれば未だ耶馬溪風景論をなす資格はなし、殊に泥んで深耶馬溪の紹介をや、我々は媚めの計畫通りせめて柿坂驛までも行きたらんにはと後悔すれど今更何んと致し方もなし、耶馬溪に遊んで耶馬溪を知らずと嗤はるゝも詮なき事なり

憐れ耶馬溪

我々は疲勞の身を車中に橫へて、山陽の遊記や、羅漢寺の緣起を讀みつゝ、耶馬溪の勝を探る事を得たるを以て、沁々

○文明の世に 生れたる事を感謝したるが、之を耶馬溪の立場より觀れば隨る泣けた話なり、昔の詩人はつゝましく自然の懷に分入つて、憧憬し、驚異し、之を謳ひ、之を讚へたり、然るに今の俗物は、不遠慮にも文明の利器たる、と、稱して汽車を通じ、無理を將ち乍ら不自然の眼を以て、自然を見んとしつゝ有り、昔の詩人が俳いて『遺物の奇怪詩手また寫す能はざるもの』と筆を擱つて

○感嘆したる 大絕勝も今は硝子窓より遠く眺めて大したものでもないと言ふ、憐れ耶馬溪も正直で然も誇張好きの山陽の吹聽に依つて、一時は海內第一と謳はれたるも、今は却つて虛名を博するに至りたり文明の利器に依つて破壞され行く天下の絕勝の有難迷惑察するに餘りあり。

◇夏らしい白服の警官——（六月一日から）

●恐るべき蛔蟲の害

小兒の専有物ではない、肝臓出血や膽膜炎の病源となる……

宮入慶之助博士の新研究

其驅除は國民保健上の大問題

三十日夜入京した九州帝大醫科大學教授宮入慶之助博士は朝鮮醫學總會の二日目に蛔蟲の驅除について數年來没頭した研究の結果を講演する筈である、博士は先年

◆◆山梨縣下 に於て住血吸蟲の研究其他の爲め調査を遂げた際に實に驚くべき事を發見した夫は即ち同縣下住民を擧げて蛔蟲に犯されて居らぬ人間のない事であつた、蛔蟲は古來より小兒には附物としてサントニーネ劑の寶藥で蟲を下ろせば夫れで好いとし別に左したる害毒を人間に與へぬもの丶如く誤信されて居たが事實は

◆◆肝臓出血 となり或は膽膜炎を惹起すなど種々容易ならぬ病源となつて居ることを博士は發見した蛔虫は小兒のみならず大人にもあつて是等種々の害毒を與へて居るのである、現に宮入博士自身も同博士夫人も之に冒されて居る事を發見し海仁草を以て驅除した、海仁草は海中の藻で昔の

◆◆漢法醫も 用ゐた所であるが其適宜の分量及び用法に依り効果の薄い事もある、蛔虫の害は山梨縣下のみならず恐らく日本全國民に取つて重大な問題で或は死亡率にも影響する所が尠なくないであらう、即ち之が驅除法を普く行ふ事は國民保健上の重要事項である、博士は海仁草は極めて廉なものであるから或は公共の費用を以て之を人民に下附するが如きも有力なる手段であらうと云つて居る

●軍需品列車火災

＝カザン停車場＝ 損害三千萬留

カザン（東部露西亞ボルガ河の中流に沿ふ）停車場にて軍需品列車に火災起り貨車三百五十臺倉庫七棟を燒失し損害三千萬留に達せり（莫斯科電報）

●正木丸後報

損害僅少か

既報遭難船第二正木丸救助の爲め逸早く現場に向へる海事局の鳴川丸及び稅關の鎭洋丸は卅日午後十時歸來したるが其齎らせる報告に依れば

▽正木丸は 本年五月十六日進水せる許りの新造船にして今回が實に處女航なりしに遭難當日は烈しき濃霧に針路を誤り航海業者間の難所とする例の長山串の絶端に突き當つて大破損を受たる模樣なるより進路を陸寄に取り急航する内又も五柳地崎の岩石多き處に

▽乘り揚げ たるなりと目下潜水夫をして破損の程度を取調べ中なるが無論沈沒の憂なかるべく積荷は三菱會社の大日山丸に移載中なれば此分ならば損害は比較的僅少に止まるべしと（鎭南浦）

●大和丸坐礁

鳴門海峽にて

大阪立賣堀南通り大坪嘉七所有船大和丸（千四百四十八噸）は三十一日鳴門海峽附近にて坐礁乘組員三十二名救助さる（大阪特電）

●脱獄囚逮捕

▼倘捕縛されざるもの三名

小菅監獄脫獄囚小池岩吉は三十一日午前一時茨城縣筑波街道にて逮捕されたり是にて倘逮捕を見ざる者三名也（東京特電）

●髪切犯人

＝女學生を覗ふ＝ 中學修猷館生らし

福岡市内にて女學生を覗ふ髪切り犯人あり縣立中學修猷館生らしく目下極力搜査中也（福岡電報）

●所有主の知れぬ難破帆船

安東縣市場通九丁目一番地の黑岩榮助（三七）が卅日正午頃平北宣川郡南面の沖合を帆船にて航行中薪川江口と大同江との中間沿岸の淺瀬に難破船らしき帆船あるを發見し直ちに船を漕ぎ寄せ見しに約百噸許りと思はるゝ支那型船にて船頭は一人も居らず積荷船具等も皆無にて船底の板一枚外づれ浸水せる儘淺瀬に膠著しあり旨卅一日鎭南浦署と共に警察署に屆出でたるが船には白字にて鎭南浦府順河丸と書しあり同署にては所有主を探査中なり（鎭南浦）

●兇賊二名逮捕

京畿道高陽郡恩平面平倉里申興泰（四〇）同里禹永實（三九）の兩名は大正四年一月十八日夜棍棒を携へ同里朴根容方に侵入し同人は他行不在中にて女子供を脅やかし三十餘圓の金品を强奪して逃亡し爾來行方不明中なりしが此の程郷里に舞ひ戾りゐたる所を兩名共京城分隊の手に逮捕されしが申興泰は此の外數箇所にて竊盜を働きゐたる曲者なりと

●賊三名を打盡

＝一鮮人の頓智＝

慶尙南道泗川郡南陽面新碧里五統魚商朴敬淑（三二）は二十九日午後五時頃東萊温泉より釜山驛に著したる所停車場前にて三人の怪しき鮮人現はれ同人に向ひ突然

▽金三圓 を貸せと脅迫されしも見ず知らずの者のみなれば之を斷はりしに件の三人は林に連れ出し與れよと强て林を伏兵山貯水池の處まで伴れ行き邊りに人なきを見て今度は金三十圓出せと脅迫し林の首に卷きゐたる手巾を取りて林の

▽首を締 めて引倒せし上石を拾ひて面部頭部の嫌ひなく毆打し果ては懷中に手を入れて所持せし金十一圓五十錢を强奪せんとする所へ驛前の木塚巡査が消防夫一名を隨へて巡回し來りしにぞ賊は驚きて逃走しかけしにぞ林は賃を告げては賊を

▽取逃が す虞れありと思ひ巡査に向ひては殊更ら酒の上にての喧嘩をしたるものなりと申立て其の場を繕ひたるにぞ賊等は案外に打喜び悠々と其場を立去りたるが林は窃に遠に跡をつけたりとて直ちに賊等の行先きを突止め驛前派出所に到り木塚巡査に右の旨を

▽訴出で たれば木塚巡査は直ちに追跡し谷町附近にて三名の賊を取押へたるが此の賊は慶南金海郡生れ李成術（廿）慶北安東郡生れ李元七（三）及び釜山谷町二丁目七十九番地仲仕業金允彦（廿）の三名なりしと（釜山）

●昌慶苑の奏樂

李王職昌慶苑にては二日の日曜日午後一時より四時に至るまで洋樂の演奏を爲すべくその曲目は左の如し ▲一行進曲[illegible] ▲二[illegible] ▲三[illegible] ▲四[illegible] ▲五[illegible] ▲六[illegible]

◇梨花學堂創立記念日 京城貞洞の私立女學校の梨花學堂では三十一日は創立記念日とあつて午後三時から青草の校庭で生徒の體操や遊戲などの催しがあつた、先づピアノの音に合はして行進遊戲、それに王后載冠式から幼稚園の遊戲、唱歌、體操なんど十種ばかりの面白い演技があつた來賓としては在京城の外人宣教師や、朝鮮人父兄が澤山あつた（寫眞は王后戴冠式）

●雨中の水路下り（三）

◇ーどんどん、どこよ、エーツレー [illegible]

薄暗いトンネルの中で [illegible]

命に別條はない

圖川舟は 揺れた、人々の心は安くなかつた、薄暗いトンネル内のブツカリが三回も續くと、簡單な屋形は概ね毀されて終ふ、毀された屋舟を下ろすわけにも行かぬので、幕やらアンペラやら杢の柱やらをみんなで水路に投げ込んで流した

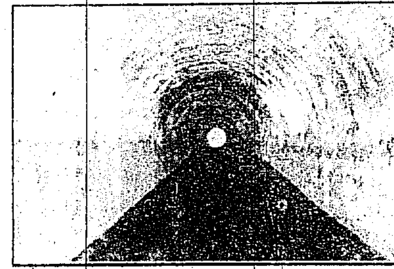
◇ワイ〳〵騷ぐ聲が トンネルの中だけ殊に高い、唯水深は三尺内外に過ぎぬのと、片へに大きな綱が通つてゐるのであるから、たとへ顚覆しても命に別條のあらう筈はない、そんな事を誰れやら聲高に言つてゐた、騷ぎと恐怖に慣れて來ると、人々の心にもいくらかの餘裕を生じたらしく『サアお前さん心中だ』なんかと戯談に言つて笑ふお役人もある、船首の方にヘタバツてゐた二十位の一妓は麥酒の醉ひの廻つた故か、又は度胸を揺えたのか、いきなり聲高に艶やかな二上りを唄ひ出した、それはしかし某氏が一喝に止めさした、前の船もすぐ後の船も何かしら騒ぎしてゐるらしい、色んな聲が前後から跳つて來るので分つた、唯吾々の船は最も大型で他つて屋形も大きかつたためトンネル内の接觸がドレ[illegible]

◇その變りに天氣は 上つたらしいですよ『外はベラ棒に明るい』藤井氏は出口を見て言つた、成程外はバカに明るく見ゐる……と、船は乘合二十餘人の盛んな拍手の裡にトンネルをあとにした、然し藤井氏が喜んだやうに、又他人も上つたかなと思つたやうに天氣は晴れてゐなかつた、五月雨らしい雨はザン〳〵降つてゐた、空は依然として深く濁つてゐた

圖屋形が ないので皆々濡れて居るので[illegible]

圖時計を 見るとトンネルの中に約二十五分を費やしてゐた、[illegible]

た『ヤア色々御心配をかけましたけれど』



◇大正水利の囲耶山隧道

[illegible]しかつたのであらうと思はれる、「大舟に乘つた氣で——」と云ふ諺はあるが此の水路下りは小舟の方がよさそうであつた、コレも雨のためである、[illegible]

圖その間に 下流遠くトンネルの出口が白く見ゐ出した、それが段々大きくなつて來る、屋形をとり外してからは別に事故もなく三千分の一の落差を舟はズン〳〵下る、トンネル内の岩や石やセメント固めなどがトンネル口からさし込む光線のため光つて見ゐて來

然しまだ五里餘りもあるので到底此儘行けさうにない、隧道を出て三町も下り、そこに船をとめて此處に流した屋形を直す事とした、流したアンペラその他は農場の人が拾つて呉れてゐた

[illegible]

圖吾々は 船をすて、雨中を高い堤防に上りションボリと屋形の出來るを待つた、すべての船はそこから二町ばかりの間にとまつてゐて、辨當船から配給を受けそれをつかつてゐた（一記者）

運動界

◇倭城組勝つ（對京電の庭球戰…）

[illegible]

●淺川中將歡迎會

[illegible]

圖お伽噺の會を開きます

坊ちやん孃ちやんの爲に

第三回京日お伽講演會

開會日時 六月二日（日曜）午後一時

開會場所 南大門小學校講堂にて

おためになつて面白い！皆様是非お出でなさい

京城日報社

[illegible]

商況

東京期米特電 [illegible]

兵庫期米 [illegible]

大阪三品特電 [illegible]

大阪期米特電 [illegible]

下關期米特電 [illegible]

雜報

●綿糸布不勢 [illegible]

下値に現物 [illegible]

三銘十圓七十錢 [illegible]

●錢と聯か不勢 [illegible]

●正米漸次强硬 [illegible]

思惑引續き擲臥一部

上多に無論相場以

割安品の跡

●牛皮移出不保 [illegible]

●支那粟上物高 [illegible]

返ゝ之又三十錢高 [illegible]

●白米チリゝ高 [illegible]

上鮮白二十錢方 [illegible]

二十錢高の氣配 [illegible]

●生果類不活氣 [illegible]

●粉米小强し [illegible]

南大門の廻穀 [illegible]

仁川正米 [illegible]

釜山穀物（卅一日） [illegible]

生魚市場

内外の入荷約七千尾 安値を現出 [illegible]

▲釜山水產市場（卅一日） [illegible]

仁川期米

一日前場（活況）

新甫二十錢上

大阪天候憂天

仲買店 仁川米豆取引所仲買人

新甫二十六圓二十錢と一錢下鞘

先八十六錢より

買物多く九錢と上

仲 仁川米豆取引所仲買人 [illegible]

▲新甫發會す [illegible]

新甫は豫報の如く二十錢上鞘 大阪は一錢

仁川米豆取引所仲買人 園仲買店 電話二八二長二八三 電略シ又は（カクシ）

市場雜觀 [illegible]

强硬に自然 期近は 中限に煎 精白米 阪神著二十九圓五十錢 更に三十圓

注文多く入り込み 更に上値

田中金兵衛商店 仁川米豆取引所仲買人

仁川米豆取引所 一日の八月限 前場 寄付 止値 高値 安値 出來 [illegible] 現金賣 一等白米 二等白米 二十七圓 二十六錢 小賣白米 白米標準値 二十六圓七十錢

倉田仲買店 仁川 電話 [illegible]

一日後場 仁川期米 △中限一節二十二圓六十八錢七錢二錢一錢二節九十二錢三錢五錢六十九錢七十錢一錢 [illegible] 接續 寄付 [illegible] 入港 對馬丸上陸二二等客 [illegible]

京城日報課題及募集規定 ▲募集規程 ▲用紙は端又書は同形の用紙一枚毎に雅號又は姓名の外に住所氏名明記の事 [illegible]

天候 曇一時晴れ [illegible]

（お伽噺 京日）

眞似の失敗

龍山 涙光

今から八百年餘り昔、京城の近くにお伽村といふ村がありまして、村の中央をお伽川の綺麗な水が流れ、川の向ふにはお伽嶽といふ高い高いお山があつて夏になると涼しい風を送つてくれました。斯うした平和な村の住人はどんな人であらうと思ひますと、これはまた美しい著物を長く著流した孔雀の一族でありました。お伽川の川邊に添うた孔雀の王樣の御殿では今日しも舞踊會が開かれて、それは〳〵賑やかであります。

村の人達は目の醒めるやうな美しい羽をひろげて綺麗な頭を振り振りみんな一生懸命になつて踊りました。そのうちには孔雀の王樣までツイ釣り込まれて手を打つて歌つてゐられます。またその聲のいゝ事つたらホロ、ホロ、と金板を玉が轉げて行くやうないゝ聲であります。朝から踊り續け歌ひ續けた孔雀の村の人達は、はやお陽さんがお伽嶽の彼方に姿をかくしかけて夜の世界がだん〳〵近付いて來た事も忘れて賑かにして居りますと、今日は非常にお天氣が好かつたので遠出を致しまして一日樂しく山から森へお寺の屋根へと遊び廻つて日の暮れかけた今、お伽村の王樣の御殿の上まで自分の村へと急いで飛りかけて來た烏村の黑助さんがフト綺麗な歌の聲が耳に入りましたので

『オヤ、何事だらう。』何と好い聲で歌つてるなあ、烏村なんかでは朝から晩まで嬉しくつても、悲しくつても、みんな俺の名のやうに眞黑々の黑ん坊が、カアカア〳〵〳〵て、ほんとに他方の者が聞いたらさぞ可笑しい事だらうね、ドレ誰が歌つてゐるのか一つ降りて見て來よう。そしてどうしたらあんな好い聲で歌へるか眞似をして見よう、俺が烏村へ歸つたら早速あの聲で、オ、あの聲だ、あの聲だ、みんながさぞかし驚くだらう面白いなあ、嬉しいなあ』

と、黑助さんは孔雀の御殿のお屋根の上で

『何處だらう、何處で歌つてるのかしら』

探し廻つて居りますと硝子で張つた明窓があります。鳥の黑助さんはソツと明窓からのぞいて見て

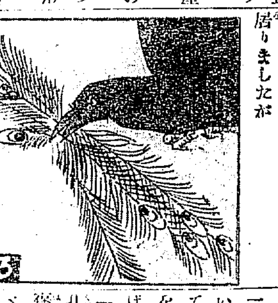
『カーカオーカオーまあなんて美しい著物だらう、綺麗だなあ、美しいなあ、俺もあんな著物が著たいなあ、生れ落ちるとから眞黑い著物ばかり著て、おまけに名まで黑助だなんて、あゝいやだ〳〵』

と一心にみて居りますと、やがてみんな踊をやめました、美しい踊も止まりました。そして王樣は高い段の上から

『みんな今日はよく來て呉れた、私は非常に嬉しかつた、ついて明日も最う一日舞踊會をしてよく踊つてよく歌つて呉れた者には褒美をやる事にするから朝からみんな集つて呉れ』

と有仰いました。みんなは喜こんで王樣の萬歳を唱へて家路をさして飛つて行き、王樣も御殿にお入りになりました。明窓の黑助さんはこの王樣のお話をじつと聞いて居りましたが

『明日も踊りがあるのか、俺も何とかして孔雀の眞似をして上手に踊りたいなあ、さしてうんと御褒美が貰ひたいなあ』



と、今までみんなの踊つてゐた大廣間を隅から隅まで見廻して居りましたが

『カリア、カアーしめた、甘いぞ〳〵』

とこつそりと窓から中に飛び込みました。見ると孔雀達があんまり一生懸命で踊つたものだから美しい羽が彼方彼方に澤山ぬけて落ちて居ります。鳥は大急ぎでその羽をみんな拾ひ集めてお森の中へ逃げて來ました

『サア今晩中に俺も鳥を廢業して孔雀になるのだ、そして明日は御褒美を貰ふのだ、嬉しいなあ』

と、拾つて來た孔雀の羽を自分の身體中に植ゑ付けました、その内に夜が明けて昨日の孔雀の連中が

『ヤア、美惠吉さんお早うございます』

『ヤア、これはこれは孫兵衞さんお早いお出かけで……』

『アラ花子さんぢやないの、お早うございます』

『マア、誰かと思つたら緑子さんなの、昨日はお疲れでございましたでせう』

と王樣の御殿をさして集つて參ります、鳥の黑助さんは、その澤山な人の中へこつそり一緒にまじつて御殿に參りました、そして昨日の通りに賑やかに踊が初まりますと黑助さんもついて踊り出しましたが、何うも眞實の孔雀のやうには踊られません、まるでお酒醉ひみたいに彼方によろ〳〵此方によろ〳〵と踊つて居ります内に、植ゑた孔雀の羽が一本ぬけ、二本ぬけとう〳〵みんなぬけ落ちて仕舞ひ今更逃げ出されもせず眞晝間、黑い顏を一層黑くして光る目玉ばかりパチクリ〳〵させて困つて居ますと、みんなその樣子のあまりをかしかつたので踊りも歌もやめて大きな聲でドツと笑ひ出しました、今は鳥さん、たまらなくなり眞似なんかするものでないと後悔し泣いて孔雀の王樣にお詫びをしましたので、王樣もおとがめもなく許しておやりになりましたトサ

紙上寶探し（第一回）

本社は京日愛讀者の爲め面白くてお樂しみになる紙上寶探しを始めます、寶を探す場所は六月四日と五日發行の京城日報夕刊に出て居る『お伽噺』の中に本社名京城日報が幾つ隱してあるかそれを探し出して葉書でお知らせ下されば宜しいのです

◇締切は六月二十日迄◇宛名は京城日報紙上寶探係◎正解者には抽籤で五十二名に左記賞品を贈呈します但し本紙月極め讀者でなければ無効です

賞品		
一等	反物	七名
二等	應接室置時計	十名
三等	パナマ帽	十五名
四等	浴衣地	二十名

◇當籤發表は七月三日の本紙上發表と同時に賞品贈呈す◇ 京城日報社

南北近事

軍艦の賣却と頓挫

廣東督軍莫榮新氏は軍費に充當する目的を以て軍艦廣海を外國に賣却せんと計畫し居れる旨香港より巡閲使廣東公處に電報ありたり尚ほ右軍艦の賣却價格は既に八十萬元に協定せられ居るも廣東民間有志の反對により交渉頓挫の模樣なり

戰時會計處設置說

支那政府は歐戰平和克復後賠償及び損害賠償要求の準備として戰時會計處を設くる事に決し對獨斷交より宣戰までを第一期とし宣戰より戰爭終局までを第二期として調査することゝし目下外交部中心となり内務財政陸軍農商各部と協同審議中にして不日官制公布せらるべし

和蘭よりの借款說

兩廣巡閲使龍濟光は瓊州にありて一百萬元の借款を成したるが一說によれば同巡閲使は和蘭商人との間に二百萬元の借款を交渉し目下進行中なりと

募債捗々しからず

七年公債發行以來頗る捗々しからず政府當局は種々苦心努力しつゝあるも何分戰亂のため各省商務局等にて引受くるもの少なく到底六月末の期間内までに募集し盡さゞるべきを見越し一箇月或は二箇月間募集期間を延期の止むなき情勢なり（北京）

陸地棉と民心

慶尙北道管内某陸地棉主産地に於ける本年度陸地棉栽培状況に關する一農民の談を聞くに同地郡廳に於ては昨年度の失敗に懲りて些の遺策なきを期し特に事情の許す限り援助を與へたる結果其の成績良好にして豫期以上の好果を得同郡に對する陸地棉栽培指定面積は四千町歩なりしも郡廳より人民に對し指定したる面積は四千七百町歩に達し尚陸地棉栽培地は郡廳に於て一應檢査の上其の適否及び面積を確實に調査し更に播種後下種の實否を調査したるに指定地の一部に大豆に灰を塗り一見陸地棉の如く裝ひ播種したるもの等ありたるが之等に對しては更に播種を命じ再檢査を行ひ指定面積の播種を確實ならしめたり而して陸地棉播種は四月二十八日より五月六日迄の豫定なりしも降雨並に再檢査等の爲め多少遲延を招きたるも概して豫定面積の播種を實施するを得たるが該棉獎勵に對する人民の感想は近時漸く其の有利なるを認め稍良好なりと雖も今尚之を嫌忌し非難を試むるもの少なからず其の理由は主として昨年まで無償配布したるを本年より有償となしたることに起因せるも近時陸地棉價昂騰せること及び本年度より地主に於て陸地棉を小作料として請取る事としたる爲め嫌忌する風著しく減退せり而して今後の天候適順なるを得ば良好の成績を擧げ得べしといふ（大邱）

間島小學生北鮮旅行

間島尋常小學校第三年生以上の北鮮修學旅行は六月二三日頃龍井を發し新興坪一泊、廿翌日會寧に著夫れより淸津、羅南、鏡城を訪ふべく往復十日間の豫定なり（間島）

能く當る人

◆相撲勝負豫想當選者◆

本社が本年の五月場所東京大相撲勝負の豫想懸賞を募集すると應募の數は無慮實に數萬と云ふ多數に昇つた其内でも豫想適中して一等の候補となつた者が又數千と云ふ數であるが抽籤の結果一等に決定したのが仁川本町

◆奧田商店の雜貨部に勤務する◆

原田三吉と云ふ人である、此人相撲に就て相當の見識があるかと云ふと決してそうでない、また二十歲にならぬ青年で勿論國技館の本所も見た事は無いらしい、けれ共趣味に依つて相當に強い弱いの鑑別から四十八手の加減迄呑み込んで相應の相撲談には趣味を持つてゐたのであるがそれが廿六日の懸賞發表になると一等は唯一人仁川の原田三吉氏とある勿論

◆葉書一枚で銀側懷中時計を貰ふ◆

だから嬉しく無い筈がない『寧ろ意外ですよ、何か當るかも知れない位で葉書一枚氣張つたのですがそれが一等にならうなんて實に自分乍ら驚きましたよマア運の好いのですネ』と語つて居る、聞けば三吉氏は元來が頗る籤に強い人だとか嘗て本年四月三日の紙上であつたか萬年社が廣告意匠の鑑別に懸賞を附した際なども又

◆思ひがけなく二等に當選し◆

勸業債券一枚を貰つた事もあると總べての懸賞なぞは馬鹿にされない誰でも葉書の一枚位は氣張つて置くが好いだらう（仁川）

駈落ち先き

◆例の兼二浦と判明す◆

京城本町四丁目一番地玩具商森川美之松長女イサ（一九）は南山町邊に住む愛知縣生小田切稔と云ふ男と好い情交になり去る五月二十日情夫と手に手を取つて例の兼二浦へ驅落をなしイサは二葉旅館の女中となり男は又同旅館に宿泊して三菱鐵山の某所に勤むる事となりしが一方イサの實父は先年女房に死別れ今は死に瀕せる男の兒を抱へ途方に暮れ居ることゝて捜査願ひを出だせし所漸やく兼二浦に居ることが判りしより兼二浦警官出張所より實父に通ひに來る樣打電せしより實父美之松は宙を飛んで兼二浦に來りしにぞ高索警部はイサを呼出し懇々其の不心得を說諭したるにイサは一度情夫に會はせて頂きたしと多數の警官や實父の前をも憚らず涙ぐみて痴話狂ひゐたるには流石の警官も呆れたりと（兼二浦）

給仕入用

內地人給仕入用希望者は履歷書携帶申込あれ（制服を給與す）

京城日報社編輯局

サッポロビール後援

第一回 活動寫眞 プリユーバード大會 有樂館

自五月卅一日至六月六日

サッポロビール愛飲家優待券（一枚二人通用）

サッポロビール愛飲家に限り本紙切拔の上御持參の御方は入場料半減可致候

大日本麥酒株式會社京城出張所

太田トランプ 占斷支部開設

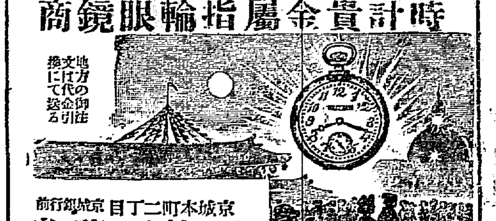
吉凶禍福百事的中

料金は當分の內御依賴者の任意にて最も懇切に占斷可仕候

京城府櫻井町一丁目百三十二番地（本町より入る右側五軒目）

佛力堂 高橋竹野

時計貴金屬指輪眼鏡商



地方の御注文は代金引換にて送る

京城本町二丁目 京城郵便局前

三浦天龍堂

電話一〇〇二番 振替京城三〇四番

兼二浦驛 守屋組

日鮮人人夫供給 多少に不拘御用命御引立願上候

一般運搬請負 鐵道貨物運送取扱

蠶卵臺紙 春蠶種子 普通桑種子

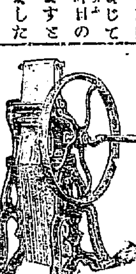
朝鮮勸農商會 釜山本町二 朝鮮發賣元

[illegible]

元祖 眞崎製麵機店

東京市淺草區東仲町二十番地 電話下谷長五三〇九 振替東京一三三五七五三

御希望の方に各種麵機多數陳列す 家庭用麵機は規模小にして價低廉



最新そうめん そばん 特許 製麵機械

博覽會共進會名譽金銀牌各種受領

藥劑師 三名

但し多少商業に經驗を有する者又は商業希望者◎支店主任として招聘す◎保證金を要す

詳細は京日釜山支局へ照會あれ

株の暴落！放資の好期！！

弊店營業諸機關

▼定期部 定期の御注文に對しては精々便宜敏速に御取扱可申候

▼現物部 現物御用命の方には賣買共に薄利を以て御取扱可致候

▼信託部 有價證券擔保融通可申又現物御買の節も御融通可致候

公債株式現物問屋 東京株式取引所仲買人

東京市日本橋區坂本町二番地

細野傳次郎商店（第一營業所）

電話 浪花 四〇八番 四〇九番 五〇三番 長六八九番 長六八九番 長九〇一番

振替口座東京一七二五〇番 電信略號（◎ホ）又は（ホ）

尙御不審有之候節は弊店調査部に御問合被下候はゞ親切丁寧に御回答可申上候

滋養強壯劑 レグモン

レグモンは多量の可溶性蛋白質と適宜のカルチウム鹽類より成れる理想的蛋白製劑にして

京都醫科大學教授 森島醫學博士より有効滋養劑として推奬せられたる名譽ある滋養強壯劑なり

「レグモン」は單純なる強壯劑と異り、其八十五プロセントは吸收せられ易き蛋白質なるが故に營養不給の結果衰弱せる人體に多量の滋養分を供給して血球素と體重を增加し、筋肉を強め、心臟を強くし、又神經を強壯鎭靜せしめて、神經過敏を恢復し、漸次に體質を改良強健ならしむるものなり、又レグモン中に含むカルチウム鹽は最も吸收せられ易きが故に現今專ら醫界に賞讃せらるゝカルチウムの靈妙なる強壯的作用を人體に與ふべき理想的滋養強壯劑なり。

醫學士山下竹三郎氏（日本赤十字社病院）曰く

レグモンを多數の衰弱せる患者に試むるに速かに營養を恢復し治療期間を速かならしめ得たり、殊に其の服用し易きと運用して胃腸を害せざる等の點に於ても、從來外國より輸入せられたる滋養劑に劣らざるものとす。云々（東京醫事新誌所載の學術的報告の摘要）

詳細なる說明書あり 無代郵呈す 全國知名藥店にて販賣す

定價 百五入 金壹圓貳拾錢 二百五入 金貳圓貳拾錢 四百五十入 金四圓五拾錢

發賣元 大阪市東區道修町 藥品製造 藥種貿易 武田長兵衞商店

京城西小門町二一番地

田中丸病院

院長 醫學士 田中丸治平

副院長 醫師 上野和夫

【入院隨意】普通病室隔離病室の設備あり

電話八八五番

優等清酒

永樂町二丁目

發賣元 本莊酒店

電話六五四番 振替京城二六〇番

▲原色版▼

高木背水畫伯筆 金剛山勝探繪葉書（一組六枚）定價三十六錢 郵稅二錢

朝鮮名勝繪葉書（一組三枚）定價十八錢 郵稅二錢

金剛山の分は萬物相、海金剛、九龍淵の秋、赤壁江の朝、溫井里の夕 朝鮮名勝の分は大同江、王龍洞の秋、金剛山等を實地に描寫したるもの又其の筆致の巧妙と用紙の良好なるに加へて印刷は歐米のものにも比して決して遜色なき鮮麗なる良品なり。

京城太平通一丁目 京城日報社代理部 振替京城三〇〇 電話（構內十八番）

花柳病 外科專門

◎梅毒◎淋病◎睾丸病◎痳病◎肛門病◎泌尿生殖器病◎皮膚病◎婦人病◎神經衰弱ヒステリー

京城南大門通農工銀行裏

909 司生堂醫院 電話三〇六五番

忠州平洞間自動車開通

▲六月一日より（淸州芙江に連絡） 平洞發午前八時 忠州發午前十時 同 午後九時半 同 午後一時半

▲乘車賃壹圓五拾錢

▲御荷物は依託物及臨時御用に應ず

淸州本町四丁目 電話五五番

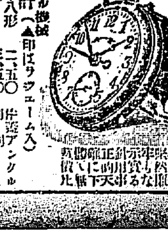
忠北自動車組合

日鮮會話精通

西村眞太郎著 定價一圓三十錢

京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

新荷著 懷中時計



アンクル機械 懷中時計（▲印はサヴエーム入）

ニッケル側十八形 二、五〇〇 片蓋アンクル ／ 同 三、五〇〇 同 ／ 同 四、五〇〇 同シリンダー ／ 同 七、〇〇〇 同アンクル ／ [illegible]

腕卷時計（▲印はサヴエーム付） ニッケル側十三形 [illegible]

他店の價格と比較されよ

命金の品は今回新の小商品値段の代金にて御引換に應じ其他附屬品の御注文も御迎へ申上候

時計、蓄音器、ミシン、自轉車、洋酒各國食料品 直輸入商

イングレッシー商會

本店京城本町二丁目電話九七二番

山下次郎 儀豫而病氣の處療養不相叶去る二十九日午前十一時死去致し候間此段謹告候也

友人一同

[illegible]米

日發表（正米十石當） 二五九五 二六〇六 二五九七

高値 二六三〇 二五九三 二五七五

安値 二五九〇 二五六六 二五五七

止め 二六二〇 二五九〇 二五七四

六錢と三錢安に寄付[illegible]上向三節迄に二十三圓八十二錢と據ぎ後二節強に割込み結局九十五錢と強硬の成行きを示したり 先限は一節二十二圓五十七錢

[illegible]値段八十[illegible]錢七十九錢[illegible]錢六錢五錢

八錢七錢六錢五錢八錢九錢八錢平均値段八十九錢

△先限一節二十二圓八十六錢七錢八錢九錢八錢九錢八錢七十錢一錢

仁川米豆取引所

一日の八月限 [illegible] 二十二圓九十五

連絡船上陸客 三十一日 [illegible]若佐文藏、宏原勇、西村重治、川中陣平、[illegible]香代、田中昇、丸山登貴子、毛利仁作、三等（八十八名）

[illegible] 六日 七日 八日 見通告者には五十錢書籍券を呈す 京城日報編輯局讀者文藝係

塚原卜傳

悟道軒圓玉口演

第九十三席

義輝公と監物が密談を中戸の際で聞いて居たのは三好下野守の許より差出してある琵琶法師の鹿山といふもの、茶室へ入つて何か内密の書面を認めて固より目は見ゐるので遂に三好の許へ遁らうとして居る所へ突然と義輝公の姿が見ゐたので逃て水屋の蔭へ入り委細詳く聞取つてこは一大事と密かに其處を遁出し忽ち下野守の許へ注進いたしました、此方は監物夢にも知らず何か將軍と密々の話しをして引取りましたが屋敷へ歸ると直ぐに上野中務少輔を呼んで相談をし、自身變裝をして屋敷を忍び出で只一人北國を指して出立をした申すまでもなく上杉家への催促の使ひであります、お話變つて三好下野守政康、鹿山法師の注進を聞いて直ぐに長慶の許へ申送る、長慶承はつて大に驚いたが最早老年、萬事は弟山城守康長、猶子義繼と松永彈正久秀とに萬事任してあります、茲で一黨の者相集り鳩首凝議をした、時に松永久秀『之れは最早猶豫すべき時でない、若し山名の催促に應じて上杉勢上洛に及ばゞ我々に取つて一大事、其前に是非共將軍を亡ぼさんければならぬ、長慶殿の御意は如何か存せぬが一日も早い方が宜しからうと忠ふ』長慶も『細川上野如き鼠輩は恐るゝに足らねど、恐ろしきは上洛である、邪勢到著せば由々しき大事、併し拙老は成るべく穏便の手段にて將軍を亡ぼし世の騷動を引起すまじと思ひは考へあつての事なれど事茲に至つては是非に及ばず堂々と反旗を擧げて室町を攻むるより外はあるまい』康長『仰の通り』義繼も言葉を揃へて『此上は仔細に及ばず一擧に將軍を亡ぼすが得策でござる』長『シテ其手段は……』時に足利義榮の近臣十河十左衞門十『主人義榮殿の父君義維公兼て綱經のお志あつて手寫し給ひし阿彌陀經の全卷、清水寺へ奉納のため來る五月御參詣ある事は將軍も知る所なれば、其參詣警固のためとして人數を集め猶義榮公より施行を下し給ふと號して京都を騷がせ、幕府よりも之を警固のため人數を出だし無人なるは必定なれば、其隙に室町へヒタ〳〵と詰寄せ、御所中に謀反人ありと呼はつて風上より火を掛け一擧して將軍を亡ぼし奉らん事いと容易と心得ますが此儀如何』一同手を拍つて 長『其儀尤も宜し然らば其手配りを』と茲で種々打合せ、上杉家より人數上洛するとしても二十日は懸るから其れまでにといふので直ちに手分して人數を集める、三好一黨の勢力は大したものでございますから、忽ち馳集まつたる人數一千六百餘人、尤も大部分は松永が大和路より呼集めたもの、忽ちの中に支度を整へ逆殺の計略を廻らす、此方は義輝公監物の返事を今か〳〵と指折り數へて待つて居りましたが其中に月も改たまつて五月十九日となる、今日は義榮清水參詣及び施行ありとの事に京洛中の男女施行を受けんと一方ならぬ雜沓、警固の爲め上野中務少輔、進士美作守の兩人、人數を率ゐて、御所を出て上京、下京を警しめ御所中には無人であります、スッカリ行狀を改められた義輝公御臺所と母君と三人で佛間へ入つて御先祖の靈牌へ手向けをして居られます、所が何となく風の響きか遠くの方から物騷がしき音が聞ゐますから義輝公不審に思召し、御自身明障子を開いて縁先きへ立出で〳〵東の方を御覽になると黑烟り混々と立上つて天日も暗く只事ならぬ有樣でございます小姓を呼んで『誰か參れ』小姓『ハッ』と答へて小姓が走去ると續出來した樣子早く見届けて參れ引違へて入來つた近臣一色淡路守『我君一大事出來にございます謀反人が押寄せました

牛乳 朝鮮 御用 京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

▲女髮 美髮元祖教授三ケ月卒業會則郵券二錢送れ 生徒募集日本全國於 京城本町一丁目婦人高等美髮學會

曆

六月三日 舊四月廿五日 九星 木命 一白 北建 佛滅 辛巳

▲一白 遊山上の事吉 ▲二黑 ▲三碧 ▲四綠 ▲五黃 ▲六白 ▲七赤 ▲八白 ▲九紫 [illegible]

演藝案内

黃金館 電話二六三七 二六六 天然色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店 當る六月三日より特別大興行 ▲新派大悲劇『色のみだれ』全十三卷 [illegible]

浪花館 明治町一丁目 電話二六〇番 [illegible] ▲前座 ▲義士傳(若虎) ▲寬永三馬術(九州男) ▲乃木將軍 ▲村上喜劍 [illegible]

有樂館 黃金町 電話 [illegible] 第一回ブリウバード大會 米國ユニヴァーサル會社 ○森林美譚『人の力』全五卷 ○人情活劇『アンプロシャ』全五卷 ○敎育お伽劇『月宮殿』全五卷 [illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三 當る三十一日より大奮發 ▲米國ヴァイタグラフ會社特選 ○西人情劇『女運轉手』 ▲チャプリンと傘 ▲新派大悲劇『天下の糸平』 [illegible]

壽座 京城壽町 電話五七八番 ○六月五日午後五時初日開演 ○歌劇と喜劇 [illegible]

[illegible]

臨床醫家に急告

四月開會の日本醫學會に於ける都築ドクトルのアンチベリベリン療法に關するプリオリテートの主張は正に貫徹せり

原因的研究 動物ノ試驗的脚氣

EIJKMANN	1896
山口	1897
佐野	1900
GRIJNS	1901
榊	1902
MAURER	1903
松下	1906
AXEL HOLST	1907
SCHAUMANN	1909
志賀	1910
遠山(銀皮酸)	1910
鈴木(アベリン酸)	1910
都築(糠精)	1910
都築(アンチベリベリン)	1911
鈴木(オリザニン)	1912
山極	1912
田澤(糠エキス)	1912
瀬川	1913

以下省略

治療的研究 人ノ脚氣

糠	末
BREAUDAT	1910
都築	1910

糠・抽出性製劑	
都築(アンチベリベリン)	1911
遠城(銀皮エキス)	1914
遠山(ウリヒン)	1915
入澤田澤(糠エキス)	1917

研究年次表

本年四月三日日本醫學會第十三分科會に於て、都築ドクトルは、『アンチベリベリン療法に係るプリオリテートの主張』なる演題の下に講演を行つて其要旨は脚氣の治療法を開拓し得た第一の發見者は都築ドクトルであると云ふ主張であつたのである。同氏は此方面に於ける諸學者の從來の業蹟を年代的に明かにせんが爲め上欄の表を示された。此表に據つて見れば、原因的研究は千八百九十六年アイクマン氏が白米を鷄に食はせて、動物に脚氣に罹らしむる事を得たのが、此研究の始めである。其後幾多の研究者が鷄、鳩、猿等に就いて、等しく其事實を確めた。次で千九百十年即ち明治四十三年に、日本の諸學者志賀、鈴木、遠山、都築等が殆んど同時に研究試驗を行つた、田澤の始めたのは千九百十二年即ち大正元年である。是等の諸學者が原因的研究に沒頭して居る間に、都築は先づ此原因的研究の結果を參照して、人の脚氣の治療法は抑同一の原理に因て開拓し得るや否やの實驗を試みたのである。白米に因て脚氣の起る事が明瞭である以上、糠を以てすれば、當然之れが治療を爲し得る等なのである。此考から、此糠を以て治療を始めたのは千九百十年即ち明治四十三年に於て佛人ブローダー及び都築が始めたのを以て嚆矢とする。而して都築は直ちに更に一歩を進めて糠の有效成分を抽出し、其抽出したる有效成分を以て脚氣治療法を試みて、事實其物がよく人の脚氣を治し得る事即ち脈搏を減じ、尿を增し浮腫を去り、心臟の變化を恢復する等の事實を突止め、尙內服の外注射に因て脚氣の治療を企て得る事を確定した。斯の如く糠の有效成分を抽出濃集して注射及內服の法により、藥劑的に使用して脚氣を治療し得る事實は、都築の始めて認知した所で、都築以前には此法を行つた人の無かつた事は前表の示す通りである。脚氣治療法として遠城氏の銀皮エキスは其後三年の後即ち千九百十四年に現はれ、遠山氏のウリヒンは更に一年後れの千九百十五年に現はれ、入澤田澤氏の糠エキスは更に二年を後れて千九百十七年即ち大正六年を以て現はれた、而して注射治療を行つたのは、都築の他には遠山氏のみで遠城、入澤、田澤氏等は唯內服治療を行つたのみである、尙前表を見て殊に注意す可き點は、オリザニンの未だ治療的研究の範圍に侵入して來ない事である。都築は前表に揭げたる論據により、アンチベリベリン療法に係るプリオリテートを主張す可き權利あるものとして、前記の通り四月三日の學會に於て講演したのである。其席上に於ける關係の學者全部即ち遠城、遠山、田澤氏等、同學會席上にありしに拘はらず、一言も此歲月に向つては異議を挾む事を得なかつた。即ち都築のプリオリテートの主張は此處に於て貫徹し得たのである。吾人は同學會に臨む事を得なかつた人の爲に、一言其模樣を述べて報說に代へた次第である。

發見後七年有餘の歲月を閲したる我アンチベリベリン療法は年一年と發展に發展を重ね大正六年中の需要獨り注射液のみを以てしても尙遂に卅萬筒を超過するに至れり其將來に至つては思ふに何人も豫想し能はざる所ならん實際に生靈の救助せらるゝもの愈々多く隨て藥力を認めたる人士の益々多きにあらずんば何ぞ能く此異例を見ることを得んや、江湖の諸賢乞ふ一層の眷顧を吝むことなかれ。

說明書送呈

かつけ新藥 **アンチベリベリン**

日英米獨政府專賣特許

發賣元 東京市麻布區笄町 南信堂藥局 大阪市伏見町堺筋 南信堂出張所

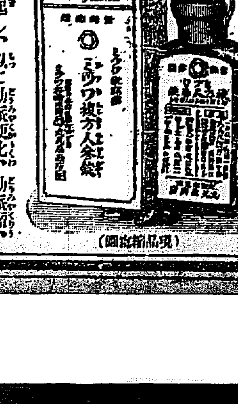
MITSUWA COMPOUND GINSENG TABLETS. 100 tablets ¥ .70 500 tablets ¥ 3.00

This new remedy, which contains Iodine and Bromine, is prepared from Ginseng an infallible remedy from ancient time to the pressent. As it contains Iodine, it is efficacious for aneurism, arteriosclerosis, apoplexy and other numerous heart diseases. It is also unrivalled for hysteria, nervous palpitation, vertigo, congestion of the brain and other nervous diseases, because Bromine is mixed with Ginseng, which has in itself the wonderful effects of sedateness.

人參を主藥とし之に沃度及臭素劑を配合せる

◎ミツワ複方人參錠

定價 百錠入 金七十錢 五百錠入 金三圓 內地以外は關稅運賃を加ふ



(現品縮寫圖)

主効

動脈硬化、動脈瘤、腦溢血、神經性心悸亢進、心臟肥大、脂肪心、心臟內膜炎、心臟炎、神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血、腎臟炎、貧血、營養不良、精力減退、老衰

本劑は沃度作用ある沃度加里を含有するが故に病的產物の吸收並に排泄を促し、健全なる細胞を新生せしめ、且血管壁に於ける石灰沈著を防ぎ、血液の粘度減少及血管の擴大を誘起し、以て動脈硬化、動脈瘤、腦溢血及前揭の心臟疾患に卓効を擧げ、又鎭靜劑として人參以外臭素加里を含有するが故に、中樞神經系に於ける知覺並運動裝置の興奮性を下降せしめ、神經系の過敏症就中神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、神經性心悸亢進に偉効を呈し、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血をも治し得べく、殊に人參の有する利尿、强壯等の諸作用に依り、腎臟炎に於ける尿異常、浮腫等を除き、營養不良並貧血に應用すれば、皮膚蒼白、食氣缺如、筋肉の瘦削、心窩苦悶等の諸徵を回復し、尙ほ老衰を防ぎて能く精力を增進する等の著効を奏す

◎ミツワ複方人參錠適應症候

- 一、心悸の亢ぶり易い人
- 一、心臟部の緊めらるゝやうな人
- 一、心臟部の苦しい人
- 一、心臟部の痛い人
- 一、心臟に故障のある人
- 一、呼吸の促つて苦しい人
- 一、胸內の苦しい人
- 一、中風の氣の人
- 一、半身不隨の人
- 一、卒中を豫防したい人
- 一、動脈の硬くなつて居る人
- 一、手足の冷ゆる人
- 一、水腫のある人
- 一、身體の倦怠い人
- 一、筋肉の萎縮んで居る人
- 一、皮膚の弛むで居る人
- 一、顏色の蒼褪めて居る人
- 一、頭痛に惱む人
- 一、眩暈に苦む人
- 一、時々氣を失ふ人
- 一、元氣良く活動したい人
- 一、延命長壽を願ふ人

以上の他ミツワ人參錠を服むべき人は之を用ひて宜し

Scientific Research Made

MITSUWA GINSENG TABLETS. 100 tablets ¥ .50 500 tablets ¥ 2.00

This remedy feeds vitality to the strained and careworn nerves and dispels the brain fag. It is efficacious for anaemia, inanition, hysteria, hypochonderia, energy-decline and is especially good for kidney troubles. Not only improves the muscular tone and invigorates the nerves, but it also excellent for the means of recovering vigor to persons of weak constitution who are flabby and incapable of continued exertions.

人參を科學的に研究して之を錠劑とせる

◎ミツワ人參錠

定價 百錠入 金五十錢 五百錠入 金二圓 內地以外は關稅運賃を加ふ

(現品縮寫圖)

主効

神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血、腎臟炎、貧血、老衰、營養不良、精力減退

本劑は鎭靜、催眠、利尿、健胃、强壯等の諸作用を具ふるものにして、其治療的效用の大要を擧ぐれば、神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー及是等の疾患に發現する諸症候即ち精神興奮、情調異常、意志薄弱、讀書不能、思考力判斷力記憶力減退、睡眠不安、消化不良、心悸亢進、手足厥冷、遺精、陰痿等に對して偉效を呈し、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血の如き神經系疾患を消し得べく、之を急性並に慢性腎臟炎に適用すれば、尿異常、浮腫、其他の苦惱を除き、分娩前後及び結核、癌腫、梅毒、神經病、胃腸病、子宮病、諸種傳染病等に因る貧血並に營養不良を回復して、蒼白なりし皮膚をして强壯なる血色に復せしめ、體力を增進し、又精力減退、即ち精神の困憊並に筋肉の疲勞を癒し頭腦を明晰にし、意氣旺盛ならしめ、老衰の諸因を去る等比類なき卓効を奏す

◎ミツワ人參錠適應症候

- 一、頭が重く或は痛く頭內が騷ぐ人
- 一、[illegible]となる人
- 一、眼の疲れ易き人
- 一、逆上て苦しくなる人
- 一、眠らうとしても眠られぬ人
- 一、魘されて悶い夢を見たりする人
- 一、些細の事を氣にかける人
- 一、何事にも怒り易い人
- 一、悲しき事もないのに泣きたい人
- 一、精神の鬱々する人
- 一、何事も悲觀して厭世的になる人
- 一、物事を深く考へる事の出來ぬ人
- 一、物事の理非判斷の出來ぬ人
- 一、內心の感情の不良い人
- 一、雜念斷りに起つて集注の出來ぬ人
- 一、神經衰弱に罹つて居る人
- 一、血の道に罹つて居る人
- 一、陰萎や遺精で悲觀する人
- 一、腎臟炎に苦む人
- 一、產前產後又病後の衰弱を防ぎたい人
- 一、勉學をして直に疲れる人
- 一、勞働して疲れ易い人
- 一、精神の疲勞を早く治したい人
- 一、筋骨の疲勞を速に癒したい人
- 一、精力を强くしたい人

汽車 京釜線(南行) 同(北行) 湖南線 京義線(南行) 同(北行) 京元線(南行) 同(北行) 京仁線 [illegible]

京城日報
第五版 下關版
六月二日朝刊 (朝夕刊を併せて八頁)
本紙定價 壹部參錢・壹ヶ月七拾五錢・前金拾五錢以上前金・郵送三拾錢・六ヶ月前金四圓五拾錢・壹ヶ年前金八圓拾錢・郵券代用一割增
廣告料金 ▲五號十五字詰一行八十錢▲二號七字詰一行一圓六十錢▲三號十字詰一行一圓四十錢▲四號十字詰一行一圓二十錢▲六號廿字詰八十錢
主幹兼編輯人 奧田直毅 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社 電話編輯一六一九番 營業二六一九番 振替口座京城三〇〇番

[illegible]中止の二十六圓八錢後者[illegible]値段[illegible]十九錢[illegible]節七十[illegible] の入荷に[illegible]相場[illegible]當五十七錢 十八錢より[illegible]十三錢先八十 さ二錢安に寄付しもチリ〳〵 錢六錢五錢六錢九錢七錢八錢九錢 八錢平均値段七十六錢三節八十錢 三錢四錢三錢二錢一錢八十錢平均 三圓二十三圓〆二錢二錢二十二圓 二十二圓九十九錢七錢九錢八錢四 節九十七錢八錢七錢八錢七錢六錢 五錢四錢六錢五錢三錢四錢三錢五 安 高値 二十二圓八十六錢 [illegible]

獨逸の産業並に商權擴張策(十二)
植民政策(五)
賀田直治

外又以上の如く自國工藝品の貿易上廉價にして實用なる强味を有するあり、以て其商權の駸々として進歩するを覺知するに足らん。獨逸人は外國に商權を擴張する必要上工業を外國に營み、自ら資本と智識を注入し併せて外國資本をも引出して生産を擴大し自國の生産品に融通して商品の勢力を增すが爲、獨逸の輸出は最も後進の位置より起りて一躍佛國を凌ぎ、肉薄して世界第一なる英國と競爭しつゝあること左記統計に依りて明瞭ならん

年次	輸入	輸出
獨逸		
一八八〇	一四億五五〇〇萬圓	一四億二三〇〇萬圓
一八八五	三、八〇〇	三、六〇〇
一八九〇	三、三〇〇	[illegible]
一八九五	三、一〇〇	[illegible]
一九〇〇	[illegible]	[illegible]
一九〇五	[illegible]	[illegible]
一九一〇	[illegible]	[illegible]
一九一三	[illegible]	[illegible]
英國		
一八九〇	[illegible]	[illegible]
一九一三	[illegible]	[illegible]
合衆國		
一八九〇	[illegible]	[illegible]
一九一三	[illegible]	[illegible]
佛蘭西		
一八九〇	[illegible]	[illegible]
一九一三	[illegible]	[illegible]
露西亞		
一八九〇	[illegible]	[illegible]
一九一三	[illegible]	[illegible]
日本		
一八九〇	八〇〇	[illegible]
一九一三	七、三〇〇	六、三〇〇

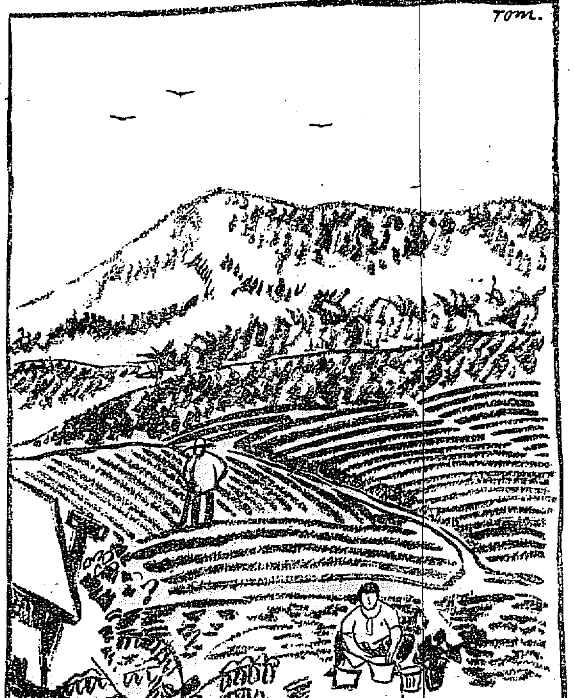
夫の獨逸の最近に於て最も勢力を注ぎて開拓せる土耳其に於ける商權擴張に就き英獨對照の實例を證示すべし。千九百十年三月在土耳其英國商業會議所會頭サー、アダム、ブロワク氏の爲たる演說中一九〇八—九年度に於ける土耳其の輸入貿易を觀るに一九〇五—六年度に比し約七百萬磅、一九〇〇—一年度に比し約百萬磅の增加を示したり。之が輸入國中英國第一位を占むと雖も、而も年々衰退の色を示しつゝあるは注意せざるべからず。一九〇八—九年度に於ける英國よりの輸入額は一九〇五—六年度に比し却つて百二十萬磅の減少を來せり。更に全輸入額に對する割合を觀る。英國は一八八八—九年度に於て四二、八パーセントを占めたるもの一九〇〇—一年度に至り三五パーセントと爲り更に一九〇八—九年度にて三〇パーセントに下るに至れり、之に反し獨逸よりの輸入は一八八八—九年度に於て二、五パーセントに過ぎざりしもの一九〇五—六年度に至り更に一九〇八—九年度に於て六パーセントに增進せり。此の間に於て獨逸は百七十五パーセントの增加を示し、之を入超年前に比すれば約三倍の數に達せり。而も英國は一九〇五年以降僅に三年間に却て百二十萬磅の減退を示せるが如き狀態に在りとす。更に土耳其の輸出貿易に就き之を觀るも、英國は尙第一位に居れりと云ふも之れ亦一九〇五—六年度に比するときは約百萬磅の減少を示し全輸出額に對する割合は一九〇〇—一年度に於ける三八パーセントより一九〇八—九年度に至りて二八パーセントに下れるに反し獨逸は同期間に四五パーセントより六パーセントに增加せるを觀るべし。備考 開戰前年(一九一三—一四年度)の土耳其貿易統計に據れば同年の輸入額中英國は一九パーセント獨逸は一五パーセントを示し又輸出額中英國は二一、七パーセント、獨逸は五、八パーセントを示せり。之れを一九〇八—九年度に比較をなすときは輸入に於て英國は三〇パーセントより一九パーセントに激減せるに反し獨逸は六パーセントより一五パーセントに激增せり、又輸出に於ては獨逸は此の間に於て幾分の減少を呈せしも英國の二八パーセントより二一、七パーセントに下れるに比すれば遙かに良好なる狀態なりと謂ふべし

玖墨國交斷絶
異樣なる墨國の宣言

墨西哥及び玖馬間に紛爭を生じ双方其外交使節を召還せりとの外電ありしが其筋に達せる情報によれば玖馬が墨國に對する通信の檢閲及び輸出禁止を最近嚴格に執行するに至りしを以て墨國の代理公使は過般來種々交渉する所ありしも一向に進捗せず爲に墨國は代理公使を召還せしが一方駐墨玖馬公使も偶々病氣の爲歸國したるものにして未だ國交斷絶と見るべきものに非ずとなり乍併桑港電報は墨國外相アギラール氏が玖馬との國交斷絶に關する公式宣言書を發表したるを報せり右宣言書によれば墨國政府は兩國關係の緊張を避けん爲め斷交に決したりとあれば國交斷絶に異樣の意味を有するを見る元來玖馬が聯合國側に加入したる爲め其の執りたる手段が墨國の利益に影響するとあり合衆國の食糧管理官の要求に應じ種々輸出入に禁止的政策を實行するが爲に最も拘束せらるゝ所は墨國なれば墨國は之に關し交渉する所ありしも米西戰爭以來玖馬が米國より受けし恩誼上墨西哥のみに聯合國側の規約を裏切りて迄も交易する能はず墨國も亦對米問題の行き懸りあり高飛車に斷交宣言を爲せしものなるべきが兩國の國交斷絶は頗る興味ある問題といふ可し(東京)

陸接國境貿易

本年一月以降三月末に至る朝鮮陸接國境貿易は輸出三十七萬餘圓輸入三十九萬八千餘圓合計七十六萬八千餘圓にして前年同期に對比すれば輸出十六萬一千餘圓(七割七分強)輸入二十三萬八千餘圓(十五割弱)合計四十萬餘圓(十一割)の增進を示せるが增進ノ一般的原因と認むべきは出入貨物價格の騰貴銀價の昂騰等の外特に豆滿江地方に於ては淸會線鐵道の開通及び間島對浦鹽方面の取引澁滯に基く對岸物貨出入經路の移動等頗る力あるが如し更に之を各重要貨物に就て觀察するに輸出貿易に在りては生牛、生馬、粟、稗等の數品を除くの外小額の減退を示せりと雖も爾餘の諸品は孰れも增進せり卽ち大豆は主として鴨綠江流域に於ける前年の豐收市價の好調其他の事情に依り三萬六千餘圓の增加を示し豆滿江對岸殊に間島地方農民經濟の裕福生活の向上に基き石油一萬七千餘圓生金巾晒金巾其他諸綿布約二萬七千圓鮮魚及び乾鹽魚各三千圓內外を增進し牛皮も亦內地移出不振の折柄間島琿春方面支那人向製靴用として需要多きを以て一萬五千餘圓の增進を示せり一面輸入貿易にありては繭五千餘圓生馬豆粕各三千餘圓人蔘二千餘圓を減退せりと雖穀價の昂騰に伴ひ主として間島産雜穀の入荷を促進し粟十二萬六千餘圓高粱四萬四千餘圓黍及び玉蜀黍各二千圓內外の入增あり豆類も亦內地移出の好況及び咸北沿海の順調に連れ間島又は露領沿海州方面より入荷多く大豆二萬七千餘圓小豆五千圓菜豆類二萬九千餘圓の增進を告げたりと


夕映え(南山公園裏にて) 石田富造筆

書畫研究會修業式
槐翁

○長谷川町の書畫研究會にては、一日午後一時より、官民有志の臨席を請ひ、男女會員十九名に對して、第一回の修業證書授與式を擧行した。予は此會の關係者の一人として、當日の盛擧を見たるを、衷心より欣快とするものである。○此の書畫研究會は、大正四年の春、賑々の聲を擧げたのであつたが、朝鮮も、曾て文化の盛なりし時代には、書畫道も頗る隆盛を極めたものであつたが、近世に至りて、書畫の如きは、一種の荒廢の結果として、一種の末技として、それに從事するものを、輕侮するの風があつた。隨つて其の進歩發達を助長する能はざるのみならず、殊に最近に至りては、益々衰微して、その停止する所を知らざるの有樣となつた。○海岡書伯も、王世子殿下の東京御遊學後は、畫筆を抛つて、また書畫道に手を染めざるの志を懐いて居つた。予一日書伯を其邸に訪へば、嘆じて曰く『我は書畫道に人となりたるが爲めに、道の輕侮を受く、甲斐なきことなり』と、予は海岡の如き納人の[illegible]を沒み、更に支那に遊んで、其蘊奥を得たる、斯道の達人に依りて、之が復活を圖るの急なるを感じ、其の復活に盡瘁せんことを慫慂した。書伯は、快よく予の言を容れたるを以て、叉髮李圭元氏等と謀りて、叢養老子爵を會長に、須田龍子爵を副會長に戴き、茲に書畫研究會を組織したのであつた。其の間には、此の會にも、一通りの困難があつた。然し海岡書伯の熱心と、會員諸氏の丹誠とは、此會をして今日あるに至らしめたのである。此會は、世の何々會何々會と稱せらるゝものが、多くは龍頭蛇尾に終るに鑑み、蛇頭龍尾たらしめねばならぬとの覺悟を以て、奮鬪に奮鬪を重ねた結果、今や內鮮支の紳士淑女の入會するもの、遂に百餘名に達したのである。○而して此の會は、他に見ることの出來ぬ、一種の特色を有つて居たのを誇とする。試みに水曜と土曜の研究日に、寸暇を利用して、來觀せよ。高等官も、判任官も、老人も、子供も、學生も、商人も、內地人も、朝鮮人も、支那人も、雜然、渾然として、畫筆に親しんで居るを見るであらう。而して更に趣味を同うする處には、日鮮の間に、日支の親善も、左程困難の業でないとの感を起すであらう。○此日修業證書授與式に預つた、男女十九名の會員諸君は、實に夙夜匪懈、許多の心力を盡した結果にして、決して容易のことではない。然れども書畫道は、殆んど窮りなきものであつて、愈々進めば愈々遠く、益々行けば益々深いのである。諸子は卽今の技量に安んぜず、尙一層の努力を以て、其の所謂の蘊奥を極め、斯道の爲めに盡瘁せんことを希望して已まぬ

米國向貨物
注意

米國向貨物に對する『コンシュラー、インヴオイス』許與方に關して其筋の發表する所に據れば同國駐剳石井大使よりの著電として戰時通商局は在外米國領事に對し五月二十七日以後の輸入制限表に揭載せられ居るものたると否とに拘はらず當業者に於て總ての米國向貨物に付戰時通商局の發給せる許可番號を提示するに非ざれば『コンシュラー、インボイス』を與ふべからざる旨訓令することに決し五月十三日中に發令する筈なる趣其筋にて確聞せり右は從來出先米國領事に於て輸入制限品たるや否やに付解釋を誤り混亂を生せしを以て自今一切の貨物に付輸入許可を必要とすることゝし中央にて統一を計らんとするに過ぎずして之が爲め制限表記載以外の貨物に關し新に輸入制限を行はんとする趣旨にはあらざる趣なりと因にコンシュラー、インヴオイスは領事の積荷證明書を言ふものなり

(◎雜話抄)

觀音窟用某韻 後凋 渡邊千冬(東京)
沙灣叢處翠微連。積雪玲瓏落日邊。誰識芙蓉眞面目。孤峰如揖萬峰眠。
(常盤臺東坡不識廬山眞面目、君郎節獨見山法在絕島之故如此)

春晴出城 磯野秋渚(大阪)
卵色天開淡沲春。春光暎我出城闉。瓜皮誰放東西水。冠者相追五六人。戲掛路花驚蝶夢。偶看郵女祭蠶神。靑旗一桁垂楊柳。故板橋柳作隣。(評曰 高和流暢 一結極其佳 可謂巧手也)

◎鰊の朝鮮燒(婦人週報)
鰊の苗でなく、よくホを切り一寸醬油にからめて味噌を塗り黑胡麻の摺つたのをつけて出します。もし味噌が乾いた節は一寸水をふつて胡麻をつけるのですが、致澤にすれば胡麻の中に玉子の黄味をすり込めば味もよく味噌が乾いてもよくつきます。胡麻も上等にするにはよく洗つて塵埃をながし、水漉のように布巾を敷いて上り、焙烙に半紙を敷いて妙るとよいのです

◎◎有給外務社員招聘 女子內勤事務員採用
勸業債券報國公債月賦販賣 株式會社朝鮮支部
京城若草町百六番地 長電話三〇一一番 振替口座京城六五九番
恩給年金は年額の四倍半迄立替す 金利は月百圓に付壹圓貳拾五錢の返濟方法は濟崩に付貸金利用法として最善有利の方法也
◎公債債券現物賣買 ◎有價證券擔保貸付
京城府若草町一〇六 西村商會 長電話三〇一一番 振替京城六五九番

最新刊
朝鮮鐵道旅行案內 ○ 譯者 志賀重昂 [illegible]
詳解電 [illegible]
最新乾式試金術 永野英輔 [illegible]
實驗蓄の遺傳 外山龜太郎 [illegible]
大曲 [illegible]
生命の不可思議 [illegible]
青島攻圍陣中記 [illegible]
一目瞭正義 [illegible]
西洋草花栽培法 [illegible]
中流生活の改造 [illegible]
續金色夜叉 一、三〇
作文辭典 [illegible]
應用自在 算術自由自在 定價四五
京城本町 大阪屋號 (本店)東京 同店 大連 旅順 鐵嶺 釜山

京城古市町電話二七四六番 畑硝子工場 主 畑六一 兄弟 特製人蔘エキス瓶 其他一般の御注文に可應候

最新刊 最新朝鮮地理 櫻岳 藤戶計太著 總クロース金文字入八百五十頁 定價二圓 郵稅 鮮內十二錢 外三十錢
一、本書は道府郡行政區域の改正後面里洞新設に依る最新の地理書にして志賀重昂先生の序文の一節に曰く『本書は實に帝國希覯の朝鮮地理書也』と以て其一般を窺ふに足る
一、本書は第一編全道第二編各道第三編各地に分類し沿革位置境界地勢氣候山河、島港灣、官公署、學校、會社、組合、銀行、神社、佛閣、殿樓、町名、名所舊蹟古戰場、溫泉等を詳記し産物、人種族制、民籍、戶口、言語、文字、風俗、宗教、教育、衣食住、行政財政經濟、産業、交通は勿論著名加ふるに農商工業及金融商業に關する實用的各種の參考表を以てせり
一、本書は附錄としてアイウエオ別道府郡島面索引及內地、臺灣、關東州、樺太の地名表及五十音別目次を追加し母國殖民地間の連絡を知らしめ母子國間連續旅行者の便を計れり
一、本書は內鮮人を問はず官民を論ぜず朝鮮に於て公私諸般の事に從ふ士の執務上必要なるは勿論事業經營上の最良指導者たり旅行者の最新案內者なり
一、本書は各種學校各官衙、各銀行、各會社に最も關係多き著名地の必要なる各般の事項を蒐集せるを以て各官衙各銀行會社及各種學校講習會の良參考書なり
一、本書地名には朝鮮諺文を附し、日本假名を以て內鮮音讀を附加し國語朝鮮語の連絡を知るに便し、引いて字音の關係に依り內鮮關係の密接なるを明白ならしめたり
一、本書資料正確周到にして序次懇切を極め詩歌を各所に配在し讀者をして多趣ならしめ期せり誠に空前の好著なりとす朝鮮の事情を詳實に研究し半島の實情に精通せんとする有志者は速に本書を購求して座右に備へられんことを望む朝鮮地理の蘊奥は本書に依りて腦裏に蓄積せられむ大方の期待渴望に負かざらんことを
賣捌所 京城本町通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

金郊木炭改良組合創設
當組合決議により去る四月十五日より改良實施致し候に付倍舊の御愛顧を蒙り度奉願候
追而現品に對し左記各項御注意を乞ふ
▲根炭 改良品赤布に金郊改良檢査濟の證を附す
▲白炭 は白布に前記號の證を附す
▲在來品 には無檢査品及在來品の二種の布證を附す
▲各俵 に對し前記の證を附せざるものは不合格品とす
京義線金郊 金郊木炭改良組合

★サッポロビール
絶へず流るゝ水は常に清澄なり
多く賣行くビールは常に新鮮なり
大日本麥酒株式會社京城出張所

總督祝辭

別項記載朝鮮醫學會總會席上に於ける長谷川總督の祝辭如左

朝鮮醫學會第八回總會を擧行するに當り親しく各位と相見ることを得たるは本總督の滿足する所なり朝鮮の醫事衛生は百方之が改善を畫したる結果近時大に其面目を革めたりと雖も尙之が十全を期せむには更に一層の努力を要す殊に地方病及び傳染病の研究に至りては專ら各位の卓拔なる識見と明敏なる檢索とに依るに非ざれば遂に其の解決を見る能はざらんとす惟ふに濟生施仁は爲政の本義にして社會の健全なる發達は醫道の盛衰に俟つこと多し各位は克く其の重任に顧み文明の學理を闡明して治病の要訣を探り以て朝鮮に於ける衞生保健の充實を期せむことを望む玆に所思を述べて祝辭とす

軍需局設置理由

國家百年の長計を樹立せんが爲め

軍需局設置に關し內閣より發表せる理由書の大要左の如し

近時國際戰爭は啻に軍人の活動を以て足れりとせず上下一致國力を傾注するに非ざれば終局の勝利を得る能はず政府は曩に軍需工業動員法を制定し今や內閣に軍需局を設置し設法施行を統一する常設機關とせり、歐洲戰亂以來交戰諸國の工業動員に關する狀態を稽ふるに列強は何れも皆戰時に至り急遽工業動員の必要を感じ各種機關を設置し後總動員の機關を設置せり(中略)今後列國は其機關を如何に擴張し戰後之を如何に處分するやは今日揣摩し能はざるも獨逸に於ては經濟參謀本部を常設し研究と施行を兼掌する機關とし英國に於ては現時の軍需省を其儘存置し以て戰後の工業戰に備へ且つ工業動員の平時準備機關とする意ありと聞く我國軍需局設置の目的亦國家百年の長計を樹立せんが爲めのみ軍需工業動員の事たる廣汎なる範圍に亙り是れを實施する曉一局の微力を以て全能を盡す可きに非ず故に統一機關たる軍需局は他の關係各省各地方廳民間實業家の同心協力に俟つに非ざれば圓滿なる進行を期す可らず殊に衆議院の提議を採擇して組織せんとする官民合同の軍需評議會は斯業に堪能なる朝野の有識者を網羅し專ら工業動員法實施に關する諮問機關と爲し特に動員に依りて生ずる損害の保證金獎勵金の(四字不明)並に收用したる土地家屋其他の工作物の拂下價格を決議するの權能を與へて工業の資源を涵養するの途を開き且つ有事の際の動員の圓滑を期したり(東京特電)

墺太利紛擾激甚

猶太、スラブ族對墺軍襲擊

セネバ來電=墺太利に於ける紛擾其極に達し爲めに墺軍の伊太利攻擊は全や中止さるゝに至れり尙猶太、スラブ族は墺軍に對し襲擊を開始せりと又ライバッハにては重大なる暴動起り官憲と鬪ひ多大の死傷を出せり(香港電報)

敵ソアソン、ランス間兵力集中

敵はソアソン、ランス間の線に二十五箇師團以上の兵力を集中しつゝあり尙敵は或地點に於て二日間に二十五粁を進出したり(巴里電報)

西伯利形勢重大

反過激派勃興の機運に際す

イルクツク、オムスク、トムスク其他西伯利の大都市にては極めて重大なる憂惧を惹起し居れりイルクツクにては勞兵會と其反對者との間に間斷なき爭鬪行はれつゝあり北京諜者の何人なるか如何にして生せしやは一切不明なり反過激派勃興の機運は西伯利各地に亙り熟せるものゝ如し(哈爾賓電報)

大阪だより

△[illegible] くして輕く且水を反撥する特性を有し其代用品になり今後一層加工[illegible]の[illegible]に相場保合ひ居れる[illegible]商店の如きは到底受渡を了す[illegible]

△超過金課稅問題 新稅[illegible]ことは不可能なり[illegible]

△多木肥料[illegible] 播州別府[illegible]二[illegible]入賞者二名に對し五圓の寄附[illegible]方を各府縣農會に申出でたるが同[illegible]

協約往復文書發表

支那外交部は五月三十日午後日支軍事協約に關する日本政府との往復文書を發表せり(北京電報)

軍需局職員

一日附を以て左の通り辭令ありたり(東京特電)

京都府理事官 原佐一
特許局事務官 藤井貞
任軍需局書記官(各通)
內閣書記官長 兒玉秀雄
拓殖局次長 立花俊吉
鐵道院理事 中西淸一
內務省地方局長 添田敬一郎
陸軍少將 渡邊滿太郎
同 奈良武次
海軍中將 中野直枝
同 井出謙治
農商務省農務局長 道家齊
農商務省商工局長 岡實
遞信省管船局長 若宮貞夫
軍需局參與被仰付(各通)
內閣書記官 下條安慶
拓殖局書記官 入江海平(外十三名)
軍需局事務官被仰付(各通)
農商務省技師 伊藤悌藏
同 小西正二
同 野間啓雄
同 吉村萬治
同 森脇虎彥
兼任軍需局技師(各通)

陸軍異動發表

一日左の通り異動發表ありたり(東京特電)

一等主計正 宮里熊五郎
同 矢上英太郎
同 河內曉
任主計監
一等軍醫正 篠尾明濟
同 長尾半平
同 村上彌五若
任軍醫監
憲兵中佐 水間春明
任憲兵大佐
二等軍醫正 大川保
同 井上圓治
同 內藤勇助
任一等軍醫正
廣島憲兵隊長憲兵大佐 笠貞次郞
免本職補朝鮮憲兵隊長

海軍異動發表

一日海軍大佐級以下三百六十名の補任異動發表されたり(東京特電)

兒玉翰長兼任

內閣書記官長兒玉秀雄氏は一日附を以て賞勳局總裁兼任(一等)仰付けられたり(東京特電)

敍勳

一日左の通り敍勳發表ありたり(東京特電)

海軍少佐 服部正計
敍勳四等授旭日小綬章
海軍技師 松田達正
同 林房吉
敍勳五等授双光旭日章

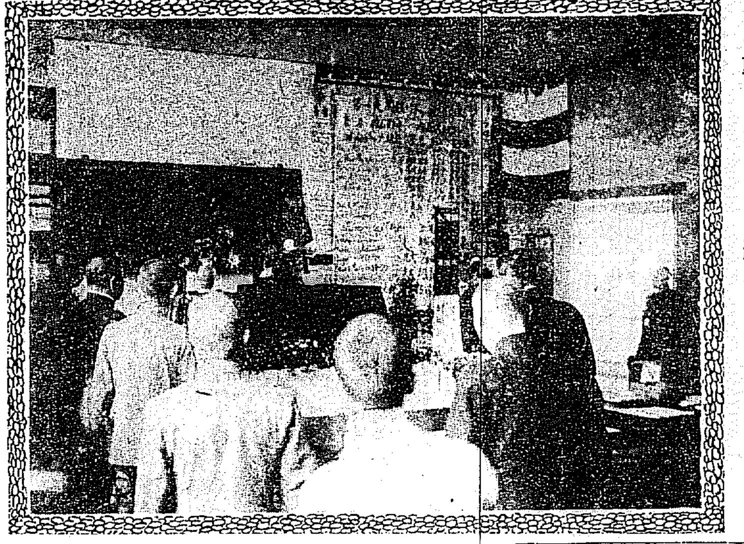
東亞興業社長

荒井賢太郎氏に內定

東亞興業會社が增資の上海外活動を爲すに就き適當なる新社長を物色中なりしが、前の朝鮮度支部長官荒井賢太郎氏就任の事に內定せり(東京特電)

床次氏動靜

支那巡遊中なりし政友會總務床次竹二郎氏は三十一日午後七時十分京奉線列車にて來奉大和ホテルに投宿せり氏は同夜領事館の招待宴に臨み一日朝は大連より來奉せる大谷光瑞師、樺山滿鐵理事、村田滿日社長等と會見し又張督軍招待の午餐會に臨めり氏は北京に於ての用務を果したれば直に大連經由歸京の豫定なりしも一日午後は特に湯崗子溫泉に赴き鞍山店鐵鑛所をも視察すべしと(奉天特電)



◆朝鮮醫學會總會(總督祝辭を讀む)

醫學總會(第一日)

長谷川總督臨場

朝鮮醫學會第八回總會は豫定の如く一日午前八時半より京城醫學專門學校に於て開催せられたるが全鮮各地の會員百五十名の外長谷川總督松川軍司令官谷屋武官高橋少將松永京畿道長官を首め京城在住の重なる官民數十名及び東大醫科大學教授岡田博士九大醫科大學教授三宅宮入兩博士楠森賢次郎氏(滿洲)協新ノ助氏(同)野川三秀氏(同)等

△刀圭界の大家 名士多數列席し學界空前の盛況を呈したり席定まるや會長芳賀榮次郎博士は式辭を述べ次いで長谷川總督祝辭(代讀稻本幹事)京城醫師會長古城憲治博士の祝辭朗讀あり終つて幹事より會務及び大正六年度決算報告を爲し直ちに議事に入り先づ役員改選を行ひたるが開票の結果會長には

△芳賀博士重任 し其他は會長より左の通り指名ありたり

△名譽會員 醫學博士佐藤恒丸

△副會長 醫學博士森安連吉、和田八千穗

△幹事 金杉榮藏、有働富哉、久保直太郎、有馬英二、海戸[illegible]

△評議員 佐藤徹、池田秀雄、楠本鶴三郎、原親雄、早野龍三、渡邊晋、加納五郎、神岡一亨、青木禮三、高井貞治、田中丸治平、中島貞信、宗像修太郎、植村俊二、醫學博士久保武、工藤武城、酒井虎彥、小林平吉、古城梅溪、古城憲治、河野衛、安藤諍、佐藤剛三、坂井清、佐々木四方志、佐々木[illegible]、市岡四郎、永井信治、杉本砂一

△地方委員 齋藤俳二、西直恩、蒲井班象、中塚四郎、宮崎介[illegible]、有馬長次郎、國見僖作、齋藤系作、秋田保彥、久德陽[illegible]、松本豎正、內村安太郎、藤井[illegible]、蟻川享、穗永[illegible]一、[illegible]、石嶺文七、福永澤次南、影山勇哉、若瀬友次、氏家義猶、河本[illegible]、奈良與三郎、井崎精一、吉野勝藏、野川弘

ついで更に役員會にて決定したる左記草案

藤田獎學資金授與論文審査規定(大正七年四月)

一、朝鮮醫學會長、副會長、幹事及び評議員を以て組織する役員會(以下單に役員と稱す)は前年に於て朝鮮醫學會雜誌に掲載せられたる論文中より獎學資金を授與すべき論文一篇以上を豫選し之を審査委員に交付す

二、審査委員は五名とし會長の指名(又は役員會の選擧)により就任し前項の豫選せられたる論文の價値を比較詮衡して其の結果を役員會に報告するものとす但し審査委員は常設(又は年每に之を改むるもの)とす

三、役員會は審査委員の報告に基き獎學資金を授與すべき者を決定す

四、役員會の成立は第一項役員の總數の二分の一以上の出席により其の決議は多數決とす

五、獎學資金を授與すべきものは一名又は數名とす

六、役員會は其の年に於ける總會に於て之を發表するものとす

を附議し滿場異議なく之を可決して議事を終り一同玄關前にて

△記念の撮影 を爲したる上九時三十分より愈々本會の眼目たる講演を開始し

△特別講演日本に於ける[illegible]に就て三宅博士△朝鮮人腸寄生蟲調査(第二回報告)小林晴治郎君△輸精管を存せざる腹膜內睾丸の組織に就て松井放目君△本邦製造白加鐵砒素劑の血液に及ぼす作用齋藤糸平君△內分泌臟器の血液糖に對する相互關係に就て米村龍次郎君等名論卓說續出す斯くて正午となるや直ちに休憩し一同打ち連れて醫院後庭なる回春園に向ひ永禱殿構內に於て長谷川總督より

△茶菓の饗應 を受けたるが午後一時再び講演を開始し

△[illegible]の持續的鬱血療法に就て堀內常貞君△畜犬の狂犬病豫防注射成績に就て中親雄君△上氣道惡性腫瘍に對する放射線療法と手術的療法(附手術法方針の改善)岡田博士△[illegible]扶斯の臨床的觀察有馬英二君金杉榮藏君△發疹窒扶斯の血液所見金澤探君△先天性頭部正中瘻孔[illegible]△[illegible]血球數に關する實驗的研究[illegible]沖津五君△朝鮮人のみを收容する[illegible]△甲狀腺腫の手術的治療に就て河本[illegible]君△急性肺炎及び毛細氣管枝加答兒に對する芥子泥用の價値中田榮君△京城に流行せる風疹池田季雄君△食道異物三十七例に就て水城國治君等何れも平素の蘊蓄を披瀝して五時過ぎ閉會したるが聽講者は此間絶えず

△熱心に聽講 し質問討論を試むる者もありて非常に有益なる會合なりき尙總會は二日も引續き開催の筈

人蔘耕作者褒賞授與式

開城專賣課出張所に於ける人蔘耕作者褒賞授與式は一日午後二時より同出張所內に於て擧行伊藤所長の開式の挨拶に次で事業報告あり夫れより鈴木度支部長官は一等より四等迄十七名に對し一等三百圓並に褒賞を授與したる後一場の訓示演說をなし終つて地方法院開城支廳四位判事來賓總代として祝辭を述べ受賞者總代孫鳳祚氏答辭を述べ之れを以て式を終れり京城よりの參列者は平井專賣課長高野三井支店長大垣京運社長其他にて耕作者六十餘名列席頗る盛況なりき

鱈漁業の改善

朝鮮に於ける鱈漁業は近時益々旺盛に赴きつゝあるも餌料たる蛸又は蝦を求むるに非常に困難を極め且つ價格廉ならざる爲不引合の場合もあるより總督府に於ては昨年來之れが改良漁法を研究し江原道前津に於て擬餌鈎を使用し鱈漁業に從事せしめたるに蛸を使用すると同樣の成績を得たるを以て本年は各道に擬餌鈎を配布し試驗せしめつゝある由にて其成績如何は鱈漁に大影響を及ぼすべしと

鈴木領事入京期

間島總領事館在勤領事鈴木要太郎氏は本省と事務打合の爲め二日間島出發途次京城に立寄り總督府と事務打合をなし三四日滯在の上東上すと

石川視學退任期

京城櫻井尋常小學校長として就任以來令名ありし石川伊三次氏は去廿七日附を以て忠淸南道々視學に榮轉來る六日午後七時五十分南大門驛發列車にて赴任の筈なるが後任は鍾路尋常小學校次席河野卓爾氏なりと

人事消息

△後藤瑞巖師 京都妙心寺東京地方巡錫中の處五月三十一日夜歸山
△永田包雄氏(海州典獄) 一日夜入京南大門旅館へ
△松寺竹雄氏(平壤覆審法院檢事長) 入京天眞樓へ
△赤河義助氏(黃海道警務部長)△赤星鐵馬氏(奉天銀行取締)同上南大門旅館へ
△關館次郎氏(大邱覆審法院檢事長) 同上不知火へ

百聞百種

田尻東京市長が學者であること、奇行に富むでゐること、其皮肉の洒落は天下御免であることも苟も新聞や雜誌を讀む程の者の皆知る處であるが博士が非常の兒思ひであることは知る者が少ない△博士には一人の兒君がある、八代ちやんで東京在の大塚に住つて居る△博士は自作の野菜でも兒君の宅へ初物を屆けた上でなければ自宅の臺所には入れない△一寸旅行して何かお土産を持つて歸つても先づ神棚へ供へ次に兒君の分と別けて夫れから家の者が頂くといふ順序だそうな床しい話である△東京は今や市會議員の選擧戰で修羅場を演じて居るが或日帝大の教授淺野應輔博士の許へ候補者某氏の運動員が押懸けて『何卒某氏へ御投票を!』と申込んだ△博士は『私は或人へ投票の約束をして居る』と斷ると運動員は『デモ御座いませうか!』を冒頭に滔々と某氏の人格識見を褒め立て『公共の爲めに是非共某氏を御選擧願ひたい』と小一時間も演述に及ぶ△運動員の舌の働きから顏面筋の肌張をツクヾヽ眺めて居た博士は『私の約束して居るのは實は某氏だが今貴君の御話を承はると某氏は立派な人の樣でもあり又ツマラヌ人の樣でもあるから某氏との約束は一應取消して更めて考へて見ることにすると某氏へ傳へて下さい』

漁船二隻難破

黃海道海州郡松林面延坪里[illegible]上げられて破碎し乘組員は辛くも[illegible]

簿記 通學生募集 寄宿生 校外生
本校は簿記學專門[illegible]一人每に教授す本校は明治四十五年府廳認可大藏省文部省商法律の規定に依り簿記の原理原則及び應用を確實に教授す卒業期一科十日金額四箇月就職紹介す△校則教科內容送料二錢要す
當時入學許可大連版生募集
東京も區櫻川町十一番地
私立 認可 日本簿記專修學校

文章世界 六月號定價廿八錢
創作 櫻の實の熟する時…島崎藤村 難船の後…鈴木悅 或る男の方に…河野茂樂 女作家の死…秋田雨雀 強い心と弱い心…田中純 創作者の心持…前田晁
▽「殘雪」を讀む作者へ[illegible] ▽碧樓 ▽詩 ▽短歌…喜志子
藝術家の心…赤木桁平 ▽春を惜つて…田山花袋 侏儒巨人…豐島與志雄 批評上の理想主義…西宮藤朝 ▽外國文學の背景…長谷川誠也 悅ばしき知識の序曲…生田長江 思想界のゴシック精神…廣川勉
東京本郷 博文館

スタンダード尺 グラジュッ尺 兩尺根本均說明
大日本森田式洋服裁斷教授
森田與三郎
京城南山町三丁目五番地
△縫方に幾分經驗有る△熱心なる人を望む△縫方に經驗無き人は御斷り
松本喜十方

婦人公論
我國の婦人職業問題(動き過ぎる上流・動き足らぬ下流)…商工局長 岡實
夏コート廢止論 自覺なき婦人の雷同的流行を難ず…法學博士 加藤咄堂
近代的賢夫人 後藤男爵夫人の面影を偲ぶ (一)目白の男爵夫人 (二)長尾中管理局長
驚くべき千里眼婦人の奇蹟(岩太郎)…貧民相談所の話(小林正金) 愛の束縛:生きよ(三谷民子) 五六月に多い自殺者…高峰醫學士
新長篇小說 嵐の曲…長田幹彦作 愈々本號より連載
女人神聖…谷崎潤一郎
節操蹂躙の訴に勝つた女…深田撫松
赤い窓(お伽物語)…藤谷虛村 男の中の女(綠陰漫語) 多くの母親は不眞面目(塚本はま子) 度の過ぎた[illegible]…渡邊滋
玉藻の前…岡本綺堂
露西亞みやげ 露西亞の女・主婦・女學生・男女交際・貞操觀…早大教授 片上伸
五明しづ
繪はがきに現はれたる婦人…菅原敎造
流行の繪二葉挿入
定價卅五錢 郵稅二錢 一年四圓五十錢 振替東京三四十一番
東京市本郷區西片町十 中央公論社

尺八指南 入門者募集 出張稽古開始
京城南山町二丁目 佐藤都令

謹告
硝子瓶三割値上げ仕候
大正七年六月一日
京城林町 小野玻璃器製造所 製瓶部 電話二七九一番
京城古市町 畑兄弟硝子製造部 電話二七四六番
京城黃金町二丁目 瓶類特約店 村上硝子瓶店 電話二三四番 振替口座二三六番

京日案內

原州江陵間自動車發時間
六月一日より左の通り開始候
原州發每土曜前八時江陵着後七時 江陵發每日曜前八時原州着後七時
京釜線水原驛前 中央自動車組合 電話一四七番

普通 一回前金[illegible] 番外 一回前金[illegible]
▲申込は前日正午迄の事[illegible]▲六回以上の御申込は[illegible]▲御照會は[illegible]

◎看護婦及見習生至急採用 給料望みに應ず 山元町一丁目 コウユイ醫院

◎金融 保付多少に不拘致ます御來談 參上又は御來談 [illegible]町九 小林

◎電話讓受たし 黃金町三丁目二九一 中島旅館 電二九八八番

日鮮人記者及外務員募集 京城旭町一丁目二番地の二 『新聞』民聲滿鮮支社

店員募集 年齡十七八歲の內地人 希望者は履歴書携帶來談あれ 保證人を要す 市外蓬島 マエノ商店

◎看護婦及見習生募集 希望者は履歴書携帶本人來院 本町二ノ四五 山田醫院 電三八〇番

◎京城名物の粕漬 生々酒は白鶴見向 御一酌は旭町一丁目出雲屋に限る 鰻まむし本店 電話二八一五番

◎電話讓り物あり 京城明治町二ノ三三 有本 電話二五一九番へ

事務員採用 書記係 帳簿係 某商店に於て採用す希望者は本月四日迄に本社內辻迄履歴書送附りたし

◎道擔當主任二名及社員招聘 經驗の有無を問はず自筆履歷書 委細面談 京城黃金町武丁目 有隣生命保險朝鮮支部

安滿運輸商會 ▲平南軍隅里(价川驛前) 輕便鐵道終點价川驛より平北熙川界行乘合馬車開始

いり豆各種卸賣 地方御注文の方は鐵道便にて送る 京城壽町二九 壽堂豆店

看護婦急採用 希望者は自筆履歷書携帶來談あれ 京城明治町二丁目 中島內科小兒科醫院

わさび粉 湯に生わさび同樣 名產靜岡 色香辛味共に生わさびと同時に使用し得無比珍品一瓶三十錢 京城永樂町一 中野商店

製糸女工募集 十四歲以上二十歲迄月收拾圓以上 現在女工三十名あり(京城三坂通南廟前) 齋藤製糸合資會社

舊恩給 立替 四ケ年半迄利子一步二厘五毛 本人直接取引 櫻井町一ノ一九八 長電二五八〇番 博多屋本店

金銀細工職 至急入用 特に高給優遇す御希望の方は御來談 黃金町三丁目 清水製作所

年金恩給 最長期即時立替 四年半迄保險不要 利極安前引なし ▲京城永樂町 商品陳列館前表門 江州屋本店

◎勸業債券買入 貯蓄債券並に債券擔保低利金融 京城西小門町 電二八三番 坂本

…しく發展を見ざるがオホーツク海産…毛皮の販路に利用せられ又私服…は關領印度の特産物にして其堅牢なるものに光澤ありて大島紬に酷…

△砂糖界の將來 砂糖界は…中木片の受渡後の指田屋十五萬…外三商店にて十萬の見込なるが…恐慌來を暗示し居れり

…税に承諾せるものまで免除さる…一等賞入賞者一名…二十圓…よべし（大阪支局）

…船（九十石積）…と同人及び船夫三名…乗組中風波の為め船…海岸に打…無事避難せり

♣日米子供會の送別會 愛國婦人會の本部で毎週土曜日に開かれてあつた日米子供の會話會ではお唱歌のお上手な親切に世話をして下さつた先生が此度米國へお歸りになるので一日午後三時半からお別れの會を開きまして九月まで夏休みにする事になり日本側の子供さんが十七人、アメリカ側の方が八人で外に母さん方などお集りになつてお別れをおしみながら五時グッバイと閉會になりました

●討論に花を咲かせた
初日の朝鮮醫學會總會
長谷川總督を始め内地からも態々三博士が列席して光彩を添へる
拔け目のない寫眞屋サン

一日午前八時半から開かれた朝鮮醫學會の總會は學界に稀らしい盛大なそして有益な會合であつた、定刻を少し廻つた頃長谷川總督が釜屋武官、高橋少將以下を随へて臨席する、其熱心さには主催者の方が却つて恐縮した位、軈て松川軍司令官が見える松永道長官が來る ◎劍光帽影 參差として打ち續き暫くの間醫學專門學校の玄關前は馬車自動車人力車が渦を卷いて却々の困雜である、來賓は京城在住の重なる官民丈でも數十名に達したが此の外東大の岡田博士九大の三宅、宮入兩博士など遥々海を渡つて來た刀圭界の權威もあり、滿洲からも又三人顏を見せたのは確かに ◎晴の總會 に陸離たる光彩を添へたもの、此日はプログラムにもある通り時間勵行とあつて八時半になると直ちに開會したが時恰も會議、講習の為め入京中の慈惠醫院長公醫なども列席したので會員も却々多く、二室ブッ通しの講堂は爪も立たぬ程の大入である、議事が濟むと一寸休憩此間に記念の撮影があつて講演に移る ◎その皮切 は三宅博士の「日本に於ける膽石症に就いて」約一時間に亙る長廣舌を揮つたが一々標本を示し極めて通俗に講演したので非專門家も成程々々と大喜び、總督は三宅博士の講演が終ると止むを得ざる公用の為め退場したが軈て正午となり一同回春園で總督饗應の茶菓を喫した上再び會場に引き返すと先刻撮つた許りの ◎記念寫眞 が最うチャンと出來上つて居るので何れも「早い〳〵」と打ち興じ、一枚一圓均一と聞いて吾も々々と財布の紐――ではない錢入れの口を開く、何んでも二百に近い寫眞が瞬く間に飛んだとは寫眞屋も却々拔け目がない、講演は午後一時から再開小六ケ敷い專門語を並べ立てた質問や討論に花が咲いて却々賑つたが ◎岡田博士 の講演は午前の三宅博士の夫と共に非常に會員の參考になつたらしい、斯くて五時過ぎ閉會を告げたが意外の盛況に芳賀會長も大ニコ〳〵、各會員も亦滿足して引き取つたのは目出たし〳〵

◎光瑞師
＝奉天に來る
◇健康全く恢復
床次氏に會見のため

目下大連星ケ浦に在る大谷光瑞師は床次竹二郎氏と會見の為め三十一日夜大連より來奉大和ホテルに入りたり驛には信徒等の出迎へ盛なりし師は輕快なる背廣服にて下車し床次氏との會見を終れば引返し一日出發する由なるが師の健康は全く恢復し七月には星ケ浦を去り閑靜なる旅順の邸に入る可く更に又秋には北京より上海に出づ可しと語れり（奉天特電）

♣書畫研究會修業式
金谷充老子爵夫人を會長とせる書畫研究會にては一日午後一時より第一回修業證授與式を擧行したるが會長金子爵は老體にて病氣の為め來臨し得ざりしを以て同會總務中村氏代りて開會の辭を述べ修業證書を授與し次に講師金海…氏の獎勵詞あり◆金谷府尹は來賓を代表して祝辭を述べ修業生總代尹作惠氏の答辭ありて式を終りしが修業生は男女十九名にて内女會員中の優秀修業者は宮崎美勇子同秀子の二女史なりき◆當日は會場の四壁に修業生の揮毫に係る書畫を掲げて來賓の觀覽に供したるが何れも其進歩の迅速なるに驚嘆せざるもの無かりき當日來會の重なるものは李夏榮子爵、金谷府尹、大西京城府會計課長宮館員一氏夫人其他京城在住の書家等數十名に達せり。因に修業者は
△畫部 佐藤直衛、李夏直、權…、秋本龍助、宮崎秀子、宮崎美勇子、津金晴子、金綾海、申直淑 △書部 洪淳升、李圭元、尹貞善、李秉直、秋本龍助、謝花寬剛、李玉潤、金…、金…、…正、宋晩植

◇書畫研究會女子部優等生＝右より宮崎美勇子、同秀子

本社主催 全鮮圍碁大會
六月九日（第二日曜日）正午開始

杜鵑血に啼き蕿北地に委する長日清凉の初夏、來六月九日正午より會員は汎ねく全鮮各地に亙りて定評ある棋客を招致網羅し料亭梅の家（本町二の二八）を會席とし「全鮮圍碁大會」を開催する事に決定せり左に其規定、計畫等を發表す

規定｜計畫｜實行｜賞品｜審判

◇大會開催は六月九日とし正午より開始し午後九時閉會の豫定◇會席は本町二丁目、料亭梅の家の樓上全部◇會員は會費金二圓五十錢、當日御持參のこと◇會員各位の晩餐は酒、麥酒の飲料を添へ主催社より提供す◇優勝者に贈呈する賞品は

△壹等 記念銀時計 △貳等 記念銀盃
△參等 記念絹織物 △四等 以下廿等迄

◇申込締切期を六月五日とす◇入會希望の方は住所氏名御明記の上『京城日報社全鮮圍碁大會係』宛及び南大門通（小杉紙店）山本平壽、明治町二紀本龍太郎兩氏宅宛◇終りに圍碁審判員として知名の棋客

原 檜七郎（仁川三段）　山 平壽（京城三段）　佐藤 供藏（初段同）
横山富之助（初段同）（以下次第不同）紀本龍太郎（京城）
片山 恒夫（同）　伊藤 治平（同）　大久保雅彦（同）

右各位に對し嚴正公明の審判を乞ふ事と為したり

主催 京城日報社

所謂紳士の體操に就いて
―簡單容易な強健運動―
◇淑女にも應用す可し◇

九州帝國大學醫科大學教授 醫學博士 櫻井恒次郎

◇可笑しな名稱 紳士體操なる名稱は餘程可笑な名稱で、紳士も矢張り人間である以上は、勞働階級と體に變つた處がある筈ではなし、從つて體を丈夫にする方法に紳士、勞働者の區別が無いのは勿論である。それを殊更に紳士體操など、標榜すると、如何にも牛頭をかゝげて狗肉を售るやうで、聊か私の人格に關係しさうで有りますが◇本來此紳士體操なる名稱は、自分の附けた名稱ではなく或る機會に於て新聞社の方に、日本の紳士には是非とも體操の實行を勸めて貰ひたい、と云ふやうなことをお話したことが有つたので、是れが動機になつて新聞紙上で紳士體操などと書き立てられる事となつたので◇全く私の自發的に附けた名稱ではないので、此點はちよいとお斷りして置きたいのであります。併しながら其れでは何故に此紳士體操と云ふ名稱を使用するかと云ふ御質問で有りませうが、私の考へるには紳士とは云ふ迄もなく教育階級のことで◇此階級の人々は自分の體の價値を最もよく知つて居る人々です、即ち自分の身體は自己の私有物でなく國家の所有物である、從つて自分の體が丈夫でなければ自己の精神も亦健全で有り得ない、精神が弱わければ能率が下がる譯であるから紳士たるものは須く身體を丈夫にし精神を健全にし、能率を高め、以て國家の為めに大に活動せねばならぬと云ふことを、自覺して居られる人々と考へますから◇斯う云ふ階級の人々に向つて、殊に體操に由つて身體を丈夫に精神を健全に、能率を向上して、國家の為に大に活動して戴きたいとの考へからして、此紳士體操なる名稱を其の儘使用した次第で有ります。◇抑如斯奇妙な名を冒ふせた體操は、何んなものであるかと云ふと、之れは極簡單なもので、之に使用する時間は僅かに五分間で、而かも之れを實行する時は、毎朝起床の直後であつて、多數の紳士が、或は煙草一服を吸ふとか、或は酔醒の水を呑まうか呑むまいか抔と考へて居る樣な時で諸君の御職業の上には大した影響のない時間で有ります◇而かも此諸君にとつて苦痛を與へない時間に於て、僅かに五分間實行する處の體操の結果は、一月二月と立つ中に、諸君の活動上に偉大なる影響を及ぼすので有りますから、是非とも御始めを願ひたい。

◎天勝一座の軍人優待
―我京城日報社の勸告を快諾―
本日決行する天勝嬢の美擧
―駐劄軍人軍屬及家族迄半額優待―

松旭齋天勝一座が黄金館の蓋開以來本日に至る十一日間は實に連日連夜大入滿員の盛況にて朝鮮興行界に新しきレコードを作りたるものにして座員一同擧つて光榮とする處に過ぎず感激の餘り全府民の同情後援に酬ゆる具體的表彰として我京日『毎日の兩社を通じ中日以來より千秋樂の本日迄連日二割五分割引の『愛讀者優待割引券』を紙上に刷込府民の同情に酬ゐ來りしが愈々本二日限り明三日を以て嬢が思出多き京城お去らばの千秋樂に何か最後の表彰をとの申出に即座『樂意少き朝鮮駐劄軍隊の慰安優待』に勝る名案は無かる可しとて勸告を快承し本二日千秋樂の正午より午後四時に亙る晝間の御名殘出物を半は開放的にと云ふ招待券を發行軍及び師團司令部宛迄呈したるは近頃興行界の大出來栄終日掉尾の盛況想ふ可し

◎兼二浦遊廓
地域指定
移轉期十二月限

兼二浦遊廓は五月二十九日黄海道務部令告示第四號にて左の如く發表ありたり
貸座敷營業取締規則第三條に依り貸座敷營業地域左の通り指定す
黄海道黄州郡松林面東兼二浦里の一部
右に就き田部黄州警察署長は六月一日兼二浦料亭藤の家に内鮮人料理屋營業者六十餘を召集し部令の示達を為したり因に指定地に移轉の期限は大正七年十二月三十一日限り也（兼二浦特電）

◎平田書記官追悼會 故米國大使館一等書記官平田和夫氏…

◎朝鮮速記講習所 總督府…記者として…朝鮮速記講習所を…速記術の普及に依て人材の…速記界の進歩に伴ひ…期せむとするに在りと…しこゝありて…今後大に見るべきものあらむ

◎公普校長郵便局參觀 各地公立普通學校長四十五名は三十一日京城郵便局に於る各種操業の狀況を觀覽し終りて服部局長より對鮮人通信事業に關する一場の講話を聞きて退出せり

◎妙心寺提唱 久しく休講中なりしが後藤瑞巖師歸山せるにより二日午前九時より從前の通り大…

◎本能寺…

◎東本願寺別院（南山町）六月一日…

運動界

鐵道野球團遠征 …倶樂部野球團は明二日日曜釜山大正公園にて…

天勝一座
京城日報 讀者優待割引券
割引料金 一特等 一圓 二一等 六十錢 三二等 五十錢 三等 三十錢
普通料金 一特等 一圓廿錢 二一等 八十錢 三二等 六十錢 三等 四十錢
天勝一座は引續大入二日間延期す本券も同樣終迄刷込む御使用差支なし
京城日報社

白神洋行 ペイント、油類一切 コークス、セメント、耐火煉瓦、モルタル、スコップ、シャブル、帯革、ロープ 機械、工具 附屬品 其他
鐵材 鋼板、浪板、平板 針金、洋釘 新田帯革總代理店

高麗人參 補血 強壯 京城明治町一丁目 電話一九四八番 振替京城三七五三番
定價 十日分 二十日分 四十日分 八十日分 百廿日分 …

天下一品 増本酒店 仁川本町三丁目 電話一〇九番

御用 牛乳 ニッツ 東京城…牧場 …

大連燒酎 滿洲名産の高粱から此樣な甘ひ燒酎を釀造した事は竊に誇とする處です一瓶を御試し被下 大連燒酎製造所 九鬼榮助

珍本 貸出 新古珍本…
はい病に 効能正しき良藥あり困難の方は往復端書にて御照會あれ詳報す 播州明石細工町 鶴壽堂山本

保險金受領廣告
一金五百圓也 被保險者 蔭山又助
右者豫て日清生命保險會社と保險契約致居候處今般死亡に付當地代理店田中清一殿經由頭書の金額正に受領仕候並に同社の確實懇切と生命保險の人生に最も必要なることを謹告候也
大正七年五月
忠南公州 蔭山又助遺族

桑種 ◎原産地へ社員出張、精選種製造中なり ◎六月初著荷値段御照會願上候
京義道水原停車場前 株式會社 富國園 電話一三八番 振替口座二五三番

川北製 センプーキ 十二吋及十六吋（首振及固定型） 製品多數在庫
株式會社 川北電氣企業社（本社資本金三百萬圓） 小倉出張所 九州小倉市島町一八八 電話長六八

ワダカルシユーム錠
●體力增進の要素 人體に對する壓縮肥料 病菌に對する鐵條網
定價 …
和田卯助商店 大阪道修町二丁目 電話本局一九〇一 振替口座大阪三九七九

陸軍建築部御指定各官廳御指定 專賣特許第三二〇六九號 木材防腐防虫劑
◎クームヒン
專賣特許第三三六八六號 山林果樹園藝用驅虫劑
◎シーエス液
說明書御一報次第送呈
山田商店 京城旭町一 電話一〇七八番 龍山元町一 電話四二四番 振替京城三一九六番

易斷 高島易斷本部主事高島呑明先生出張 受付午前八時より午後三時まで 場所 京城旭町一丁目ノ出張所 電話二五七番 神易協會 高島易斷本部

花吹雪

大阪 中谷青霞

(四十九)

かくなる上は最早これ迄と、満兵衛咄嗟に覺悟はしたれど、雲涯律師が短慮を戒められた言葉も未だまざ〳〵と耳底に殘れる今、爭がふて此場に命捨つるは犬死同然、ならば免もあれ逃がれる丈は逃れて見んと、乾と身を構へ乍ら前後左右を見廻せども、柳川始め三四人の奴ども手に手に白刃抜きつれて、寄らば斬らんと隙を狙ふてゐる、今は要なき腕立ても必死の場合詮なき仕儀と、満兵衛は縁を離れて、つと身を寄せたと見ると、前に進んだ町奴の面を覗ふて、むす卑怯な奴、我から討ても出づべきに、腰脱ども、ねい此放せ。』

『ぢやと申して、相手は名に負ふ井戸満兵衛、お怪我ねはしては詮ない事。』

『ね、ツ、邪魔ひろぐな。』

振り切つて足袋跣先のまゝ、つと庭に飛下りた建部讃十郎、烈火の怒り額の筋、阿修羅王の荒れたる如く、満兵衛の隙を狙ふと見ると眞背後より抜き討ちに肩先四五寸發矢と斬下ぐる。

『あつ。』

と叫び乍らも氣丈の満兵衛、振り返りざま讃十郎が脾腹のあたり、

づと利腕とり。

『ねー。』

とばかり怒ち二三間翻筋斗打たせて投げつけた。

『うぬ、な投げたな、覺悟ひろげ。』

勢ひ鋭く斬り込んで來る流星の如き白刃の中を、引外づして前後に掻い潜り左右に開いて隙もあらば小門の方へ免れ出んとする満兵衛、

『ねー卑怯な行爲、満兵衛覺悟。』

と斬つくる柳川の腰の番ひ、さつと身を退くと共にハタと蹴る、蹴られて柳川タヂ〳〵と一間ばかり木の根に蹠づき撞と倒れる、其勢ひに避易して奴共は左右なく寄りつかず、縁側には建部讃十郎、危ふしと見て脇差引そばめ、飛下りんとする袂を捉へる一子兵馬。

『お父上そ夫れは餘りの御短慮。』

と止むるを。

『ね、放せ、今となつて止立て致

『ねいッ。』

と突いた早速の當て身に。

『うん。』

とばかり仰反り倒れる、追取刀で駈けつける、兵馬は此儘にあなやと驚き、後眼にかけて井戸満兵衛。

『可う介抱のおしやれ。』

云ふかと見ると飛鳥の如く、鮮血淋漓たる肩先押へて小門の方へ蒼然、駈け行くと遂縫つて奴共。

『ねい卑怯な奴。』

と畳みかけて斬りつくるを、引外づして足蹴にかけ、後をも見ずに裏門を闇に紛れて逝がれ出でた。

××××××××××××××

『雲涯律師はおはすか、疾く〳〵を…。』

今帰院致した、満兵衛只と氣息奄々、庫裡の裏口に辿り着いた井戸満兵衛。

律師を先きに唐土は手燭かざして裏の戸口、引あけ見ると朱に染つた満兵衛が狀に驚き乍ら立寄つて。

『満兵衛様、何うなされました、お氣を確かにお持ちなされませ。』

と引起して勞はる。

『満兵衛殿、ねツさては建部が無法の刃にお懸りやつたな、お身に似氣なき不覺のこと、むーなれど肩先、傷は淺い、別儀はおはさぬ氣を確かに…。』

云ひ乍ら雲涯律師、傷口改め引擔いで件ひ入れる、やがて夜陰乍ら潜かに醫師は迎へられたが、負傷は案外にも淺かつた。

梅毒淋病 婦人科 内科 胃腸 外科 六〇六號注射 自朝十時 龍山元町三条(?)寺前 醫學士 小川清 小川醫院

日報俳壇

■酒幕吟社詠草(新題)

茶摘
夕日燃ゆ丘に茶摘む人數哉 春草
茶摘唄に紛るゝ海の響き哉 同

朧
塔の上に響く人語や花朧 春草
驢馬寢ぬる土間賑ふ納屋の朧哉 同
水路案内に焚く篝火や海朧 逸明
朧夜や汐滿ちて來る窓の下 香仙
溫泉煙が流るゝ町や灯朧 同

春の海
陽を浴びてヨット浮べる春の海 春草
艮船の艫に踞る春の海淺し 香仙

春の山
潮景旗が唯はためくや春の山 春草
對岸に燈臺見ゆれ春の山 竹風

日永
吻々と鹿も日永の欠伸なか 逸星
道に濃き牛車の影や暮遲き 竹風

雛
古雛に草餅切ふ離れかな 春草
雪洞に光る雛の小太刀哉 同

水温む
旭に光る芽麥の風や水温む 湖劍
ギヤマンにハヤシンス咲きて水温む 竹風
水温む潮に澄ませる鴎かな 方水
渡船待つ市商人や水温む 春草
温む水にダリヤの球を洗ひけり 同

日報歌壇

○夏來る日 京城 むらさきの花

この朝け風やゝ靄み一もとの若木さゆらぎみたるかも

山腹の設める見れば初夏は更紗に觸るゝ心地するかも

みどり騒ぐ若葉の陰に來鳴く鳥ある日は鳴かず陽の照れるかも

チユーリツプ初夏にして咲く花の小さき

もめでたかりけるこゝろのわ

淺緑の花の如くもひたすらの戀見ごころのわがあしたかな 大邱 由李

○

眞實はたゞ一路なり一路なりはてはしらじなたゞに行かなむ

○

アカシヤのひまなく散れる白き道わがさまよふと君はしらじな 京城 葉一

○

うら〳〵と陽炎たちて土の香もなべてひさしく初夏なる

そよ風の波のまに〳〵舟やれば空は赤めり初夏ゆふべ

○ 寒川 空蝶

黄昏はことに淋しく北の空うちも仰ぐと言へる君かな

一縷の光見ねては消ぬがての雲に懸かるわが生なるかも

疑ひの心なみし一筋に頼らまくはおもへ敢なきわれか

西雲の明陽に影落ちて眞帆静かなり初夏ゆふべ

□湖南吟社兼題集

初鰹
初松魚一荷急ぐや花川戸 桃雨
潔き道の徂路や初松魚 靜山
初鰹男子生れし其日なり 十亭
初鰹一石橋を渡りけり 自骨
茶碗酒好む男や初松魚 不倒
碁碎く誰いで期する今宵や初鰹 同
初鰹片荷の風魚眼に重し 老風軒
鏡臺の妻が買値や初鰹 同
非番一着番が財布に初松魚 海山
初鰹一男一女膝圓ろし 雜水
二階住の我に取合はず初鰹 徐宵
房州の一の漁夫の擔ぎ初鰹 中京
天秤枝折る捻鉢卷や初鰹 優松
初鰹戸外なたゞ素通りす 青兒
土佐沖に月の闇釣る初鰹船 風骨
殺微商たる漁風並や初鰹 同
の鰹潮波登る島 南

讀者の領分

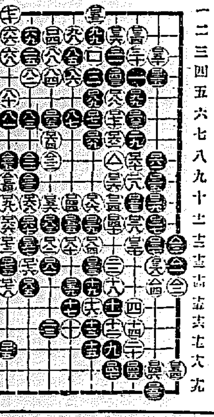
▲お花のおけいこ致し度く思つて居りますがどなたか未生流の女の先生か御存知でございますなら恐れ入りますが本欄で御知せ下さいまし御願致します(百合子)▲去る日永登浦に行き歸京す可く午後四時發列車に乘車す其の際仁川高等女學校生徒十數名乘居る處に仁川學校生徒數名同乘し居り高聲を發し磯節其の他學生として聞くに忍びざる放歌をなし居たり數多の女學生の前に於て斯る卑猥に出づるは學生の踏む可き道なりや敢て反省を望む▲物價騰貴の今日官吏で最も割のよいのは地方法院出張所の書記殿であります俸給以外に宿直料月十二圓一圓四十錢これは自分の家族と寢てもされるのでありますその外新炭石油全部役所の分を自宅用にする權利があります(某學生)

碁戰(十一)

大正七年五月二十日(於京城倶樂部) 京城日報主催圍碁會

先 三段 山平壽氏
五段 柳亭關源吉氏

●二一 チの八
○二二 トの八
●二三 チの九
○二四 ヨの八
●二五 タの五
○二六 ヨの七
●二七 ナの八
○二八 ホの三(二目トル)
●二九 ヨの五
○三〇 カの五
●三一 ツの十二
○三二 ツの十一
●三三 ツの九
○三四 リの九
●三五 リの八
○三六 ルの十
●三七 ヌの七
○三八 ルの九
●三九 ルの八
○四〇 ヌの十



眼病ならば

眼病の藥と言へば先第一に大學目藥と言ふ事になつて居る、夫れは言ふまでもない藥効の優れて居るからである、大學目藥は醫學、藥學の大家の不斷の研究に成り臨床上にも充分の自信を得たもので、其製造技能は最善を盡してある、然れば赤道直下の酷熱地にも、北極近き寒地にても巧妙に治療上の偉効を顯はして居る而して此大學目藥は如何はしい沈澱物などの無い事を見定め易いやうに透明たる瓶に入れて一葉のレッテルさへも態と貼つてない、之を見ても調劑の上に技術の優れて居る事が分るのである

其上藥瓶に添へてある點眼器も冷熱に弱いゴムの如きものは使用はず、冷熱、乾濕、藥液にも侵されぬ特許の彈附點眼器で、又包裝の如きも特許權を得たもので決して他人の模造を許さない事になつて居る斯して大學目藥は種々の特許を得て居るから藥劑に至つても注意の行屆いて居る事は申すまでもない、

最も其製劑高の巨額なる事も全國に於て拔群である、然れば外國へ輸出する高も比類なき多額で一度外國へ足を踏入れた諸君は其異數の發展に驚いて居られる程の事である

効能 はやり目、トラホーム、星目、かすみ目、たゞれ目、こり目、血目、其他炎性諸症

大阪北濱 合資會社 參天堂藥房 電話本局長一二〇〇四・一二〇五

純良の藥品と賣藥が揃つて居ります クラブ化粧品代理店ですから 御値がお安いです 京城本町二丁目角 古城賛化堂 電話一〇二番 振替七三七番

内外科 小兒科 花柳病 京城本町二丁目(壽館前) 電話二一六番 高井醫院 院長 診察自午前九時至午後九時 日曜祭日正午迄 正六位勳四等功五級 高井貞治 副院長 千葉醫學士 松崎正彦

眼鏡専門 △弊堂特色(詳細定價表發行す) レンズ精撰 技術精巧 品位確實 價格低廉 親切勉强 京城南大門通二丁目二二番地 宮川大學堂 電話二一九五九番 振替京城壹貳九番 (眼鏡製造工場弟子入用)

魚釣具及投網 小賣卸 京城永樂町貳丁目 吉備商會 電話三一四番 振替京四三二八番 鳥捕用カスミ網各種あり(御申越次第定價表進呈)

醇良無双清酒 衛生無害品質無双 發賣元 京城府黄金町二丁目 首藤京城支店 長電話一一七一番 釜山港幸町 首藤釜山支店 長電話三四三番

内科 眼科 小兒科 京城黄金町三丁目赤門通(電車停留所前) 附屬 京城肛門病痔疾療院 院長 本田建義 本田醫院 電話二四四三番 振替京城三三二八番 肛門病の話痔疾特種注射根治療法解說書入用の方郵券十二錢要す

銚子港 田中玄蕃釀造 ヒゲタ醤油 代理店 櫻正宗 發賣元 京城明治町一丁目 山邑京城支店 電話八四九番 振替貯金京城七五番

資本金參百萬圓 當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候 明治三十八年設立 株式會社 漢城銀行 京城府南大門通壹丁目十四番地 長 男爵 李允用 專務取締役 韓相龍 支配人 石鎭衡 電話長六〇一番 支店 水原、平壤、大田、開城、南大門、釜山 出張所 鍾路、東幕

陸軍拂下 並に諸官衙拂下品毛布、布團料、袴下、靴下、手袋被服一切 京城府漢江通三 電話長三二六番 佐藤古着店

百圓進呈 りん病 ばい毒 帝國醫科大學病院 淋病藥王藥は治淋劑として指毒藥王藥は駆梅内服藥として醫藥學上最有効と確定せし常に常掲配劑せる高貴藥なるを保證す若し前述の證言に違へる事を發見せる時は金百圓進呈 あらゆる治療をあすも効なき患者に角度來談あれ にせ物に東京其他各地にせドラッグあり 大阪有田製藥質販賣 京城南大門外停車場通 ドラッグ商會滿鮮本部 京城黄金町三丁目 大阪ドラッグ商會 支店 龍山、仁川、平壤、釜山、元山、大連 他の藥店に販賣を不許 京城南大門外停車場通 大阪ドラッグ商會

京城龍山等各地に僞物有御注意

釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行 和歌浦丸 月 日後五時出
○立神丸 月 日後五時出
○元山、淸津、浦鹽行 和歌浦丸 月 日後十時出
立神丸 月 日後四時出
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天興丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日(午後十時出帆)
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行 第三平安丸 四月 日後六時出
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三平安丸 四月 日後六時出
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

大阪商船汽船出帆

仁川出帆
△神戸、大阪行 日满丸 六月九日 後五時出
元山出帆
◎淸津行 安平丸 六月五日 後十二時
◎釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 安平丸 六月十一日 後九時出
大連出帆
◎上海、基隆、打狗行 湖北丸 六月九日 前六時出
基隆丸 六月廿一日 後四時出

内地各港出帆主要航路
歐洲行 一年四回
南米行 一年四回
北米行 毎月一回
濠洲行 毎月二回
孟買行 毎月二回
南洋行 毎月一回

御注意 ●外航船ノ時所八五分前ニテ以テ締切ス(遠洋航路ヲ除ク)間運賃 ●乘船切符ハ各地驛及南滿洲鐵道會社ニテ發賣 ●受託物ハ總テ仕候 ◎汽車連絡切符船貨物共發賣可致候 △印ハ船客取扱不致 ×印ハ二等客御斷リ
大阪商船株式會社仁川支店 電話二番二〇番五五〇番
京城切符發賣所 京城内鮮通運會社支店 電話七〇八番
京城本町一丁目 仁川切符發賣所 仁川京城旅館 電話二六一番
仁川港町一丁目 仁川阪田組支店 電話四二一番 ほか 電話七二番

朝鮮郵船出帆

○敦賀行 平壤丸 六月八日 六月十一日 清津發城津 元山經由 元山發
○浦汐行 平安丸 六月四日 六月六日 大阪發門司、釜山元山、城津、經由 釜山發 元山發
×○雄基行 基雄丸 六月四日 六月七日 門司發釜山各港經由×印江原道寄港セズ 釜山發 元山發
咸鏡丸 六月九日 六月十三日 釜山發 元山發
○元山雄基線 穩城丸 六月五日 元山起點各港經由雄基間往復 元山發
○大阪行 平安丸 六月十四日 六月十六日 門司、神戸經由 浦汐發、城津元山、釜山經由 元山發 釜山發
○關門行 京畿丸 六月十五日 六月十一日 六月十日 咸鏡道各港經由 元山發 釜山發
忠淸丸 元山發
○金剛山遊覽便 穩城丸 六月九日 行月六回但シ自六月至十月五ケ月間 元山發
○鬱陵島行 盈德丸 六月五日 釜山發 浦項及各港經由
○釜山浦項線 江陵丸、金海丸 毎日 釜山、浦港發
○濟州島行 昌平丸 六月四日 釜山發 釜山發長承浦麗水巨文島經由
○濟州島行 木浦發
東廻 慶興丸 六月六日 西廻 公州丸 六月三日 木浦發
○釜山麗水線 海州丸、巨濟丸、統營丸 毎日
○木浦麗水線 金海丸 六月四日 木浦發 (麗水ニテ釜山行接續)
○多島海行 公州丸 六月十四日 木浦發
○木浦行 慶發丸 六月三日 仁川發
○海州行 江丸 成歡丸 毎日一回 仁川海州發
○鎭南浦行 晉州丸 六月九日 仁川發
○靑島行 江原丸 六月十一日 仁川發 仁川ヨリ靑島直行大連芝罘寄港
○鎭南浦大連直行線 宗信丸 月 日 鎭南浦發
◎朝鮮鐵道及社外船ト荷客連絡運送ノ便アリ
本社 京城南大門通(電話一九五二・二三二一) 釜山港佐藤町 釜山支店 元山港海岸通 元山出張所 仁川港代理店 堀回漕部 木浦港代理店 山野回漕部 京城荷客取扱店 京城南大門驛前 松原運送店 電話長一一七〇番 (其他各寄港地ニ荷客取扱店アリ)

共同汽船仁川出帆

阿波共同汽船株式會社
大連直行 一共同丸 六月三日後 六月廿四日後
朝鮮總督府命令航路 朝鮮沿岸主要港にて利客運搬及荷物取扱 大連にて靑島行定期船接續
本所四丁目(電話一七三番)
仁川代理店 野口商會
元山代理店 南大門 電話二四四七番 田口回漕部
京城取次店 南大門(電話二七六〇八)河村運送店

尼崎汽船仁川出帆

下關、大阪直行
第一太湖丸 六月二日後四時出
君代丸 六月十二日後四時出
大有丸 六月十六日後四時出
群山、木浦、釜山、下關、神阪行
秀吉丸 六月 日後四時出
仁川海岸通二丁目 電話十九番 高杉回漕部

日本郵船仁川出帆

○大連行、天津行
相模丸 六月十九日
三河丸 七月九日
高砂丸 六月廿九日 (正午出)
仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部